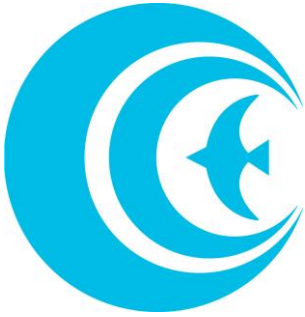


KASUMIGAURA
CITY 2020

消 防 年 報

かすみがうら市消防本部

市 章



水辺や野山にいつまでも鳥が訪れる豊かな美しいまちのイメージとともに、かすみがうら市の未来へのはばたきを象徴しています。青を基調とした色使いと二重の輪は霞ヶ浦そのものと新しく誕生した市域の調和を表しています。

シンボルデザイン



市の花・・・紫陽花（あじさい）

小さな花が一つに集まり、さまざまな土地に順応して大きな花を咲かせる姿に、市民の和と繁栄への願いを込めています。



市の木・・・栗（くり）

古くから栽培され、全国有数の産地として知られており、枝もたわわに実る姿に、豊かな恵みへの願いを込めています。



市の鳥・・・鶯（うぐいす）

春を告げる鳥として、心を和ませてくれる美しい鳴き声に、明るく希望にみちた将来への願いを込めています。

平成 19 年 12 月 1 日制定

かすみがうら市公式キャラクター



かすみがうらにゃ

猫という人の暮らしに身近な動物をモチーフにしたキャラクターで、湖をイメージした帽子と帆型の耳は霞ヶ浦に浮かぶ帆引き船を表現しています。また、シャツには全国に誇れる各種の果物を描き、手足にはアクセントとして山桜の花を配置させ、キャラクター全体で地域性をアピール。そして、市の花である「あじさい」の羽は地域の飛躍を象徴しています。

かすみがうら市市民憲章

霞ヶ浦と常陸野の豊かなめぐみを受けるわたしたちかすみがうら市民は、魅力あるまちをめざして、ここに市民憲章をさだめます。

- 1 自然を愛し、水とみどりの美しいまちをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、安心して暮らせるまちをつくりましょう。
- 1 スポーツと文化に親しみ、うるおいのあるまちをつくりましょう。
- 1 伝統がいき、若い力がのびるまちをつくりましょう。
- 1 みんながかがやき、活力あふれるまちをつくりましょう。

令和2年6月1日制定



霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会

かすみがうら市プロフィール

かすみがうら市は、わが国第2位の面積を誇る湖「霞ヶ浦」と筑波山系の南麓にはさまれ、首都東京へ約70 km、県都水戸市へ約30 km、筑波研究学園都市へ約10 kmの距離に位置しています。

幹線交通網として、JR 常磐線、千代田石岡インターチェンジが置かれている常磐自動車道、国道6号線、国道354号線を有するなど、立地条件に恵まれた田園都市です。

かすみがうら市の大部分は、標高25m前後の常陸台地で、西端の標高約380mの山々から霞ヶ浦湖畔の低地へと続くなだらかな地形を有し、距離は南北に約16 km、東西に約19.5 km、総面積は（霞ヶ浦水面の面積37.82k㎡を含み）156.60 k㎡となります。

台地には、梨や栗などの畑や平地林、低地には、水稻やレンコンなどの水田が広がり、また、霞ヶ浦沿岸ではワカサギやシラウオなどの内水面漁業も行われています。さらに、JR 常磐線の神立駅周辺や幹線道路沿いでは、商業・業務系や住居系の市街地が形成され、都市化が進展しています。

市の産業は、レンコンや果樹、内水面漁業など全国有数シェアを誇る農林水産業と立地条件に恵まれて集積してきた商工業がバランスよく発展しています。



は し が き

本書は、当消防本部の現勢及び平成31年（令和元年）中の消防業務について収録し、
今後の参考とするとともに、消防の現況を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、各統計の予算に関するものは会計年度、その他は暦年によることを原則として
作成しましたが、これによらないものは頭注に表示しました。

令和2年6月

かすみがうら市消防本部

目 次

消防機関の名称・配置	9
現在までの人口及び世帯数の推移	10
かすみがうら市消防のあゆみ	11, 12, 13

総 務

かすみがうら市の消防組織	15
消防本部事務分掌	16, 17
消防署事務分掌	18, 19
所属別・階級別人員配置状況	20
消防職員階級別・年齢別状況	20
職員の特殊技能資格保持者状況	21
消防職員の教育状況	22
消防予算	23

警 防（消防）

火災発生状況	25
過去3年間火災件数	26
署別・月別火災件数	26
原因別火災件数	27
火災・救急・救助以外の出場件数	27
火災概況	28, 29

警 防（救急・救助）

月別・事故種別救急出場件数	31
救急出場件数の推移	32
事故種別救急活動状況	33
年齢別・事故種別搬送人員	34

傷病程度別搬送人員	34
署別・事故種別救急出場件数及び搬送人員	35
曜日別救急出場件数	35
覚知別救急出場件数	36
傷病程度別搬送人員の推移	37
医療機関別搬送人員	38
医療機関搬送先状況	38
救助活動状況	39
救助出場状況	39
救助出場件数	39
署別普通救命講習会	40
応急手当普及啓発活動の推移	40
ドクターヘリ運用推移	41
ドクターカー運用推移	41

予 防

防火対象物の現況及び立入検査状況	43
建築同意事務処理状況	44
消防用設備等設置届出状況	44
防火管理者選任等の現況	45
火災予防条例による届出状況	46
危険物施設の現況及び立入検査状況	47
危険物施設の許可・認可届出状況	47

消 防 施 設

消防車両の現勢	49
消防車両等の配置状況	50
消防水利の現況	50
通信指令装置の機器構成表	51
消防通信系統図	52

無線一覧	53
気象状況	54

消 防 団

分団別人員配置状況	56
階級別年齢状況	56
担当地区及び詰所・車庫	57
配置車両	58

防 火 団 体

かすみがうら市幼少年女性防火委員会の組織	60
クラブ設置状況	61
かすみがうら市防火安全協会	62

消防機関の名称・配置

名称	位置	建築構造	面積 (㎡)			建築年月
			建築面積	延べ面積	敷地面積	
消防本部	かすみがうら市 上土田 501 番地	鉄筋 コンクリート 2 階建	641.99	744.11	4,990.00	昭和 52 年 10 月
西消防署						
東消防署	かすみがうら市 宍倉 2410 番地 6	鉄筋 コンクリート 1 階建	504.06	448.06	3,817.84	昭和 54 年 12 月



現在までの人口の推移

(人)

年 別	かすみがうら市
H28. 4. 1	42,866
H29. 4. 1	42,545
H30. 4. 1	42,413
H31. 4. 1	42,060
R2. 4. 1	41,483

住民基本台帳：外国人含む

現在までの世帯数の推移

(世帯)

年 別	かすみがうら市
H28. 4. 1	16,863
H29. 4. 1	16,941
H30. 4. 1	17,108
H31. 4. 1	17,367
R2. 4. 1	17,498

住民基本台帳：外国人世帯含む

かすみがうら市消防のあゆみ

平成17年	3月28日	<p>地方自治法第7条に基づく廃置分合により、霞ヶ浦町・千代田町が合併し、かすみがうら市発足</p> <p>初代かすみがうら市消防団長に田崎進氏就任する</p>
平成18年	2月20日	<p>地方自治法第7条に基づく廃置分合により、新治地方広域事務組合消防本部を解散し新たに消防吏員74名、事務職員1名がかすみがうら市に採用となるかすみがうら市消防本部発足</p> <p>平成17年10月1日に新治地方広域事務組合消防本部消防長に就任した岡崎勉氏が、初代かすみがうら市消防長に就任する</p>
平成18年	3月14日	職員定数101名に条例改正（平成18年3月議会）
平成18年	4月1日	<p>1名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から3名の事務職員が消防本部へ出向</p> <p>消防吏員4名採用 職員数80名</p> <p>消防本部事務機構の改革を行い、総務課に「消防団係」を設置し消防団事務を開始、3課8係に改正</p> <p>緊急消防援助隊（救急隊、消火隊の2隊）として消防庁に登録</p>
平成18年	5月2日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として8人目の救急救命士誕生する
平成19年	3月22日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、西消防署へ配置
平成19年	4月1日	<p>2名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から1名の事務職員が消防本部へ出向</p> <p>消防吏員4名採用 職員数83名</p>
平成19年	5月2日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として9人目の救急救命士誕生する
平成20年	4月1日	<p>1名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から1名の事務職員が消防本部へ出向</p> <p>消防吏員4名採用 職員数84名</p>
平成20年	4月2日	第2代かすみがうら市消防団長に藤枝多美男氏就任する
平成20年	4月22日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として10人目、11人目の救急救命士誕生する
平成21年	4月1日	消防吏員3名採用 職員数84名
平成21年	5月7日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として12人目、13人目の救急救命士誕生する
平成22年	2月18日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、東消防署へ配置
平成22年	4月1日	<p>第2代かすみがうら市消防長に井坂沢守氏就任する</p> <p>2名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から2名の事務職員が消防本部へ出向 消防吏員3名採用 職員数84名</p>
平成22年	4月1日	消防本部事務機構等の改革を行い、指令課を新たに加え、総務課の名称を消防総務課に変更し、4課8係に改正

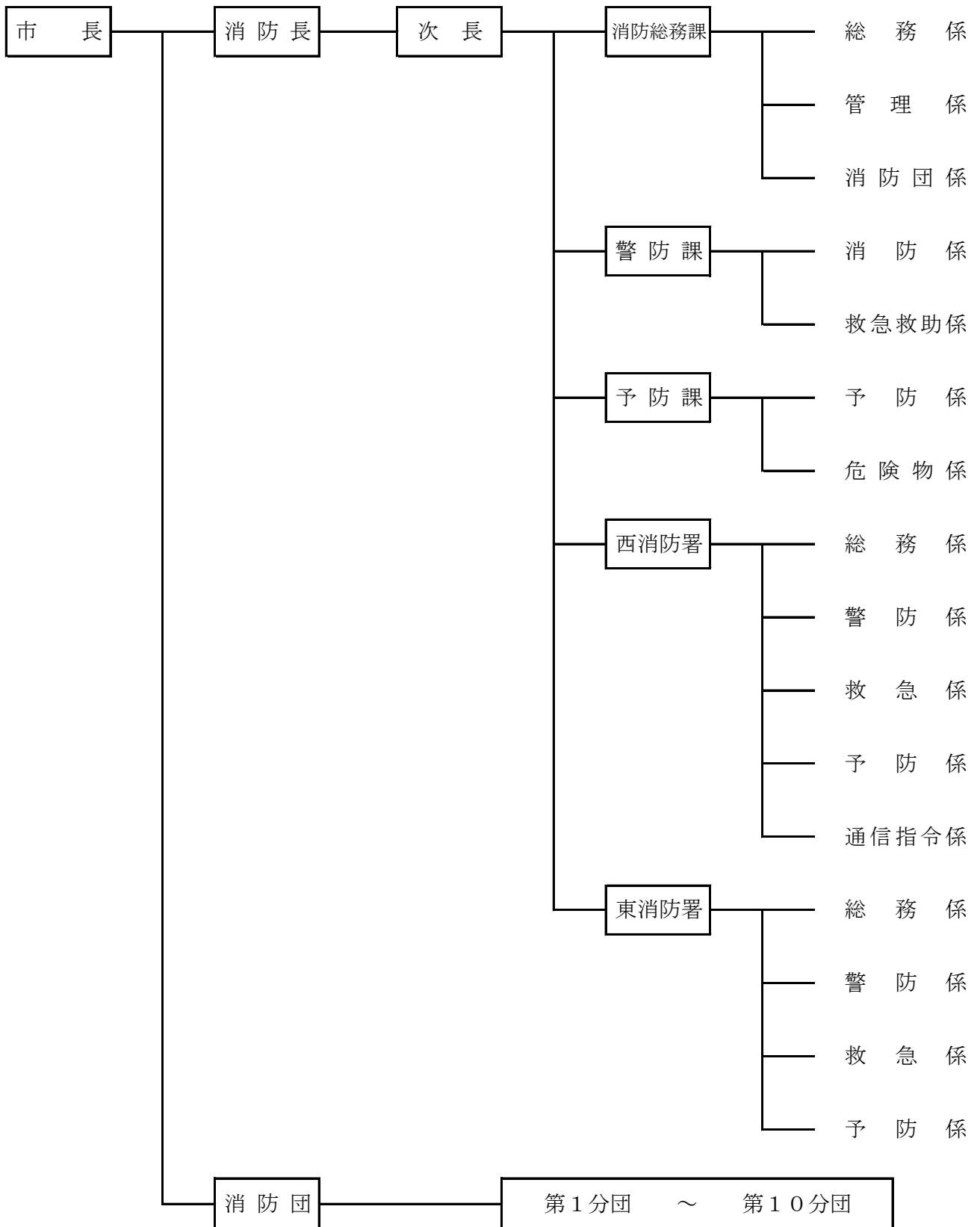
平成22年	4月	2日	第3代かすみがうら市消防団長に藤井裕一氏就任する
平成22年	4月	28日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として14人目、15人目の救急救命士誕生する
平成22年	9月	1日	1名の事務職員が市長事務部局へ出向 職員数 83名
平成23年	3月	11日	水槽付消防ポンプ自動車（BDG-GX7JGWA 改）1台購入し、西消防署へ配置
平成23年	4月	1日	職員数 80名
平成23年	4月	28日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として16人目、17人目の救急救命士誕生する
平成23年	12月	26日	水槽付消防ポンプ自動車（SDG-GX7JGAA 改）1台購入し、東消防署へ配置
平成24年	4月	1日	1名の消防吏員が市長事務部局へ出向 職員数 79名
平成24年	4月	27日	消防団組織再編により10分団54部2班体制から10分団21部体制に移行する 救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として18人目、19人目の救急救命士誕生する
平成24年	10月	1日	消防吏員3名採用 職員数 82名
平成24年	10月	10日	指揮車（セレナ）1台を購入し、消防本部へ配置
平成25年	4月	1日	消防本部事務機構の改革を行い、指令課の業務を警防課に移管し、3課8係に改正 消防吏員3名採用うち1名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として20人目の救急救命士誕生する 職員数 83名
平成25年	4月	16日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として21人目、22人目、23人目の救急救命士誕生する
平成26年	2月	12日	消防ポンプ自動車（TKG-XZU685）1台購入し、東消防署に配置
平成26年	4月	1日	消防吏員2名採用 職員数 82名
平成26年	5月	1日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として24人目、25人目の救急救命士誕生する 消防本部事務機構の改革を行い、指令課を新たに加え、4課8係に改正
平成26年	12月	7日	総務省消防庁から無償貸付として貸与された、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車1台をかすみがうら市消防団第8分団第1部に配置
平成27年	3月	31日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として26人目、27人目の救急救命士誕生する
平成27年	4月	1日	1名の消防吏員が茨城県生活環境部防災・危機管理局 消防安全課へ実務研修出向 消防吏員5名採用うち2名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として28人目、29人目の救急救命士誕生する 職員数 85名
平成28年	4月	1日	1名の消防吏員がいはらき消防指令センターへ派遣出向 第4代かすみがうら市消防団長に磯部潤一氏就任する

	消防吏員 6 名採用 職員数 87 名
平成 28 年 6 月 1 日	いばらき消防指令センターが整備され、県内 20 消防本部による共同運用を開始する
平成 28 年 9 月 23 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1 台購入し、西消防署へ配置
平成 28 年 12 月 19 日	指揮車（エクストレイル）1 台を購入し、東消防署へ配置
平成 29 年 4 月 1 日	第 3 代かすみがうら市消防長に雨貝忠氏就任する 消防本部事務機構の改革を行い、指令課の業務を警防課に移管し、3 課 8 係に改正
	消防吏員 5 名採用 職員数 88 名
平成 29 年 9 月 25 日	指揮車（エクストレイル）1 台を購入し、西消防署へ配置
平成 30 年 3 月 15 日	救助工作車（SDG-GX7JGAA 改）1 台を購入し、西消防署へ配置
平成 30 年 4 月 1 日	消防吏員 4 名採用 職員数 89 名
平成 30 年 12 月 19 日	資機材搬送車（2KG-XZU720M）1 台を購入し、消防本部へ配置
平成 30 年 12 月 21 日	消防団指揮車（キャラバン）1 台を購入し、消防本部へ配置
平成 30 年 12 月 26 日	査察車 1 台（ハイエース）を購入し、消防本部へ配置
平成 31 年 4 月 1 日	1 名の消防吏員がいばらき消防指令センターへ派遣出向 1 名の消防吏員が茨城県防災航空隊へ派遣出向 第 5 代かすみがうら市消防団長に酒井正一氏就任する
	消防吏員 4 名採用うち 2 名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成 3 年法律第 36 号）施行後かすみがうら市として 30 人目、31 人目の救急救命士誕生する 職員数 84 名
令和元年 10 月 17 日	連絡車 1 台（プリウス α）を購入し、消防本部へ配置
令和 2 年 1 月 9 日	広報車 1 台（クリッパー）を購入し、消防本部へ配置
令和 2 年 2 月 25 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1 台購入し、東消防署へ配置
令和 2 年 3 月 31 日	救急救命士法（平成 3 年法律第 36 号）施行後かすみがうら市として 32 人目の救急救命士誕生する
令和 2 年 4 月 1 日	第 4 代かすみがうら市消防長に片岡修氏就任する 消防吏員 4 名採用うち 1 名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成 3 年法律第 36 号）施行後かすみがうら市として 33 人目の救急救命士誕生する 職員数 84 名

総 務

- 1 かすみがうら市の消防組織
- 2 消防本部事務分掌
- 3 消防署事務分掌
- 4 所属別・階級別人員配置状況
- 5 消防職員階級別・年齢別状況
- 6 職員の特種技能資格保持者状況
- 7 消防職員の教育状況
- 8 消防予算

かすみがうら市の消防組織



消防本部事務分掌

課	係	分掌事務	
消防総務課	総務係	1 消防事務の企画及び総合調整に関すること。 2 消防組織及び分掌事務に関すること。 3 公印の保管に関すること。 4 消防関係例規の制定及び改廃に関すること。 5 職員の任免，賞罰，服務その他身分に関すること。 6 文書の收受，発送及び保存に関すること。 7 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。 8 職員の人事及び給与に関すること。 9 職員の勤務時間及び休暇等に関すること。 10 職員の公務災害補償に関すること。 11 職員の研修に関すること。 12 消防統計に関すること。 13 各種証明に関すること。 14 消防職員委員会に関すること。	
	管理係	1 予算及び決算に関すること。 2 職員の給貸与品に関すること。 3 消防施設の整備及び管理に関すること。 4 起債及び補助事業に関すること。 5 物品の購入，保管及び出納に関すること。 6 消防用財産に関すること。 7 消防水利の整備に関すること。	
	消防団係	1 消防団の組織運用に関すること。 2 消防団の任免，表彰及び報酬等に関すること。 3 消防団の公務災害補償に関すること。 4 消防団の福利厚生及び健康管理に関すること。 5 消防団の教養訓練に関すること。 6 消防協会に関すること。	
	警防課	消防係	1 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。 2 地域防災計画に関すること。 3 消防計画及び警防計画に関すること。 4 消防相互応援協定に関すること。 5 消防車両等の運行管理に関すること。 6 消防機械器具の研究及び技術指導に関すること。 7 火災統計に関すること。 8 消防水利の保全に関すること。 9 震災対策に関すること。 10 都市計画法に基づく開発行為の指導に関すること。 11 幼少年女性防火委員会に関すること。 12 いばらき消防指令センターに関すること。

	救急救助係	<ul style="list-style-type: none"> 1 救急救助技術の研究及び指導に関する事。 2 救急隊員及び救助隊員の教養訓練に関する事。 3 救急救助統計に関する事。 4 応急手当の普及啓発に関する事。 5 救急救助資機材の管理に関する事。 6 患者等搬送事業の育成指導に関する事。 7 メディカルコントロール協議会に関する事。
予防課	予防係	<ul style="list-style-type: none"> 1 火災予防施策の計画，立案に関する事。 2 建築物の確認，許可及び認可の同意に関する事。 3 消防用設備等，特殊消防用設備等の設置及び指導に関する事。 4 防火対象物の表示，公表に関する事。 5 防火管理に関する事。 6 消防広報に関する事。 7 防火対象物の予防査察に関する事。
	危険物係	<ul style="list-style-type: none"> 1 危険物の規制に関する事。 2 危険物の火災予防に関する事。 3 高圧ガス施設等の火災予防に関する事。 4 防火安全協会に関する事。

消防署事務分掌

係	分掌事務
総務係	<ol style="list-style-type: none"> 1 職員の勤務，休暇及び服務に関すること。 2 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。 3 職員の教育訓練に関すること。 4 職員の貸与品に関すること。 5 文書の收受，発送及び保存に関すること。 6 公印の管守に関すること。 7 表彰に関すること。 8 消防統計に関すること。 9 経理及び物品の出納管理に関すること。 10 庁舎及び付属施設の管理に関すること。 11 消防団に関すること。
警防係	<ol style="list-style-type: none"> 1 火災，その他の災害の警戒及び活動に関すること。 2 警防計画及び訓練に関すること。 3 火災原因及び損害の調査に関すること。 4 警防調査に関すること。 5 火災統計に関すること。 6 火災の証明に関すること。 7 消防水利に関すること。 8 消防用資機材の管理に関すること。 9 都市計画法に基づく開発行為の指導に関すること。 10 空気充填所の管理に関すること（西消防署に限る）。 11 消防クラブ及び防火クラブに関すること。 12 その他警防業務に関すること。
救急係	<ol style="list-style-type: none"> 1 救急救助の警戒及び活動に関すること。 2 救急救助の訓練に関すること。 3 応急手当の普及啓発に関すること。 4 救急の証明に関すること。 5 救急救助の統計に関すること。 6 救急救助用資機材の管理に関すること。 7 その他救急救助に関すること。
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 1 防火思想の普及啓発に関すること。 2 防火管理に関すること。 3 消防用設備等，特殊消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 4 予防査察に関すること。 5 火災予防条例の届出及び検査に関すること。 6 消防広報に関すること。 7 予防統計に関すること。 8 自衛消防組織の育成指導に関すること。 9 自主防災組織の指導に関すること。 10 その他予防業務に関すること。

通信指令係 (西消防署 に限る)	1	火災，救急その他の出場指令及び通信統制に関すること。
	2	通信機器の運用及び管理に関すること。
	3	火災その他の災害及び救急情報の収集に関すること。
	4	気象情報の収集及び伝達に関すること。
	5	火災警報発令に関すること。

所属別・階級別人員配置状況

令和2年4月1日現在

階級別 所属別										計	
		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	指令セン ター派遣	防 災 航 空 隊		再任用
消防長		1 (1)									1 (1)
次 長											
消 防 本 部	消防総務課		2 (2)	3 (2)	1	2	4(4)	1	1	1 (1)	15 (9)
	警防課		2 (2)	2 (1)	1	2				1 (1)	8 (4)
	予防課		2 (2)	2 (1)	1	2				1 (1)	8 (4)
西消防署			8 (2)	9	6	7	4				34(2)
東消防署			3 (1)	8	2	5	3				21(1)
合 計		1 (1)	17 (9)	24 (4)	11	18	11 (4)	1	1	3 (3)	87(21)

() 内は毎日勤務者

本 部	毎日勤務者	18名(消防学校初任科研修4名及び再任用3名含む)
	隔日勤務者	14名
消 防 署	毎日勤務者	3名
	隔日勤務者	52名

消防職員階級別・年齢別状況

令和2年4月1日現在

年齢	階級							計
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士		
20才未満						3		3
20才～24才						4	8	12
25才～29才					6	13		19
30才～34才				2	4	1		7
35才～39才				12	1			13
40才～44才			3	7				10
45才～49才			4	4				8
50才～54才			3					3
55才以上	1		7	1	3 (3)			12
合 計	1		17	26	14 (3)	18	11	87

職員の特殊技能資格保持者状況

令和2年4月1日現在

階 級		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
資 格									
自動車運転免許	大型2種	2		2					
	大型1種	67	1	17	25	10	13	1	
	大型特殊2種	2		2					
	大型特殊1種	8		3	4			1	
	牽引2種	1		1					
	牽引1種	3		2	1				
	中型2種	0							
	中型2種 (8t限定)	1		1					
	中型1種	13			2	5	6		
	中型1種 (8t限定)	32	1		26	5			
	普通2種	1					1		
	普通1種	35				6	18	11	
消防設備士免許	甲種	0							
	乙種	4		1	2	1			
危険物取扱免許	甲種	0							
	乙種	68	1	4	28	11	17	7	
第一種電気工事士		0							
フォークリフト		5	1	1	2			1	
一級小型船舶操縦士		2			2				
二級小型船舶操縦士		15	1	5	9				
車両系建設機械(整地・解体)		6		1	5				
移動式クレーン		40		7	19	11	3		
玉掛技能		50	1	10	23	11	4	1	
第2級陸上特殊無線技士		36		11	23	2			
第3級陸上特殊無線技士		40			5	9	18	8	
チェーンソー取扱者		4			2		2		
衛生管理者		5		2	2	1			
高圧ガス販売主任者		0							
救急救命士		30		6	15	4	2	3	
足場作業責任者		6		3	3				
ガス溶接技能		11		4	3	2	1	1	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		11		4	3	3		1	
潜水士		11		2	7	2			
特定化合物等作業主任者		7		3	4				

消防職員の教育状況

令和2年4月1日現在

教養科目別		年度別			計	
		平成29年度	平成30年度	平成31年度		
消防大学校	上級幹部科		1		1	
	幹部科					
	警防科					
	救急科					
	救助科					
	予防科					
	火災調査科					
	危機管理・国民保護コース					
茨城県立消防学校	初任教育	5	4	4	13	
	専科教育	警防科		1	1	2
		特殊災害科	1	1	1	3
		予防査察科	1		1	1
		危険物科		1		2
		火災調査科	1	1	1	3
		救急科	5	6	4	15
		救助科	1	1	1	3
	特別教育	水難救助課程	1	1	1	3
		操法指導者研修会	4	4	4	12
救急救命研修所	救急救命士研修課程 (東京)			1	1	
	救急救命士研修課程 (九州)					
	指導救命士育成研修 (九州)	1			1	
計		20	21	19	60	

消防予算

令和元年度かすみがうら市一般会計歳出予算

款	区分	金額 (千円)	構成比
1	議会費	144,949	0.75%
2	総務費	1,937,544	10.04%
3	民生費	6,082,488	31.53%
4	衛生費	2,680,380	13.89%
5	労働費	26,088	0.14%
6	農林水産業費	719,555	3.73%
7	商工費	551,140	2.86%
8	土木費	1,548,820	8.03%
9	消防費	1,123,174	5.82%
10	教育費	2,385,476	12.36%
11	災害復旧費	2	0.01%
12	公債費	2,063,384	10.69%
13	予備費	30,000	0.16%
合 計		19,293,000	100%

【9款消防費】

目	区分	金額 (千円)	構成比
1	常備消防費	693,334	61.73%
2	非常備消防費	67,426	6.00%
3	消防施設整備費	75,125	5.30%
4	災害対策費	287,289	25.58%
合 計		1,123,174	100%

警 防（消防）

- 1 火災発生状況
- 2 過去3年間火災件数
- 3 署別・月別火災件数
- 4 原因別火災件数
- 5 火災・救急・救助以外の出場件数
- 6 火災概況

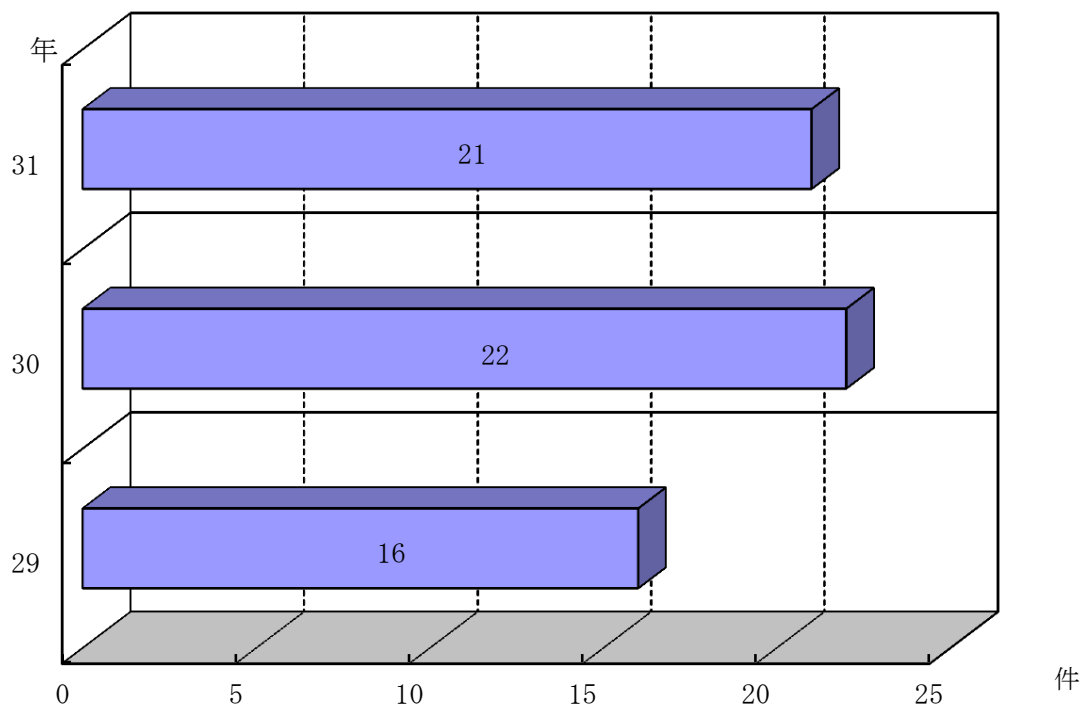
火災発生状況

月別	署別			火災種別				焼損棟数				焼損面積		死傷者数		り災世帯数			り災者数	計	損害見積額(千円)					
	計	西消防署	東消防署	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物	林野	死者	負傷者	計	全損			半損	小損	建物	林野	車両	その他
1	2	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	105	1	0	0	1	0	0	1	2	1,199	1,199	0	0	0
2	2	1	1	2	0	0	0	3	2	0	1	0	545	0	0	0	1	1	0	0	4	54,615	54,615	0	0	0
3	3	2	1	2	0	0	1	5	1	0	4	0	113	0	0	2	4	1	0	3	8	5,943	5,943	0	0	0
4	2	2	0	2	0	0	0	2	1	0	0	1	19	0	0	0	1	0	0	1	5	19	19	0	0	0
5	3	0	3	3	0	0	0	3	1	1	1	0	211	0	0	0	5	0	4	1	11	26,958	26,958	0	0	0
6	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	22	0
7	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	100	0
8	2	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	577	327	0	250	0
9	2	1	1	1	0	0	1	2	1	0	0	1	99	0	1	0	2	1	0	1	4	2,442	2,082	0	0	360
10	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3,000	0	0	0	3,000
11	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	12	0	0	0	2	0	0	2	5	1,695	1,695	0	0	0
合計	21	11	10	13	1	3	4	19	8	1	7	3	1,109	1	2	4	16	3	4	9	39	96,570	92,838	0	372	3,360

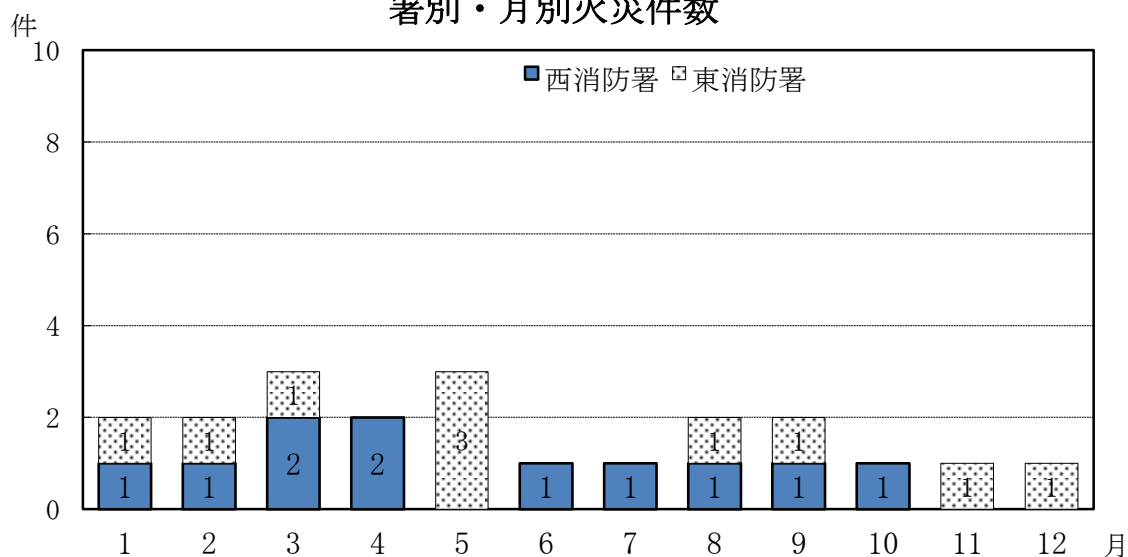
署別	11	西消防署	5	1	3	2	8	2	0	5	1	465	1	1	2	6	1	0	5	13	28,179	24,447	0	372	3,360
	10	東消防署	8	0	0	2	11	6	1	2	2	644	0	1	2	10	2	5	3	26	68,391	68,391	0	0	0

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。過去3年間に於けるかすみがうら市内の火災件数は下表の通りである。

過去3年間火災件数

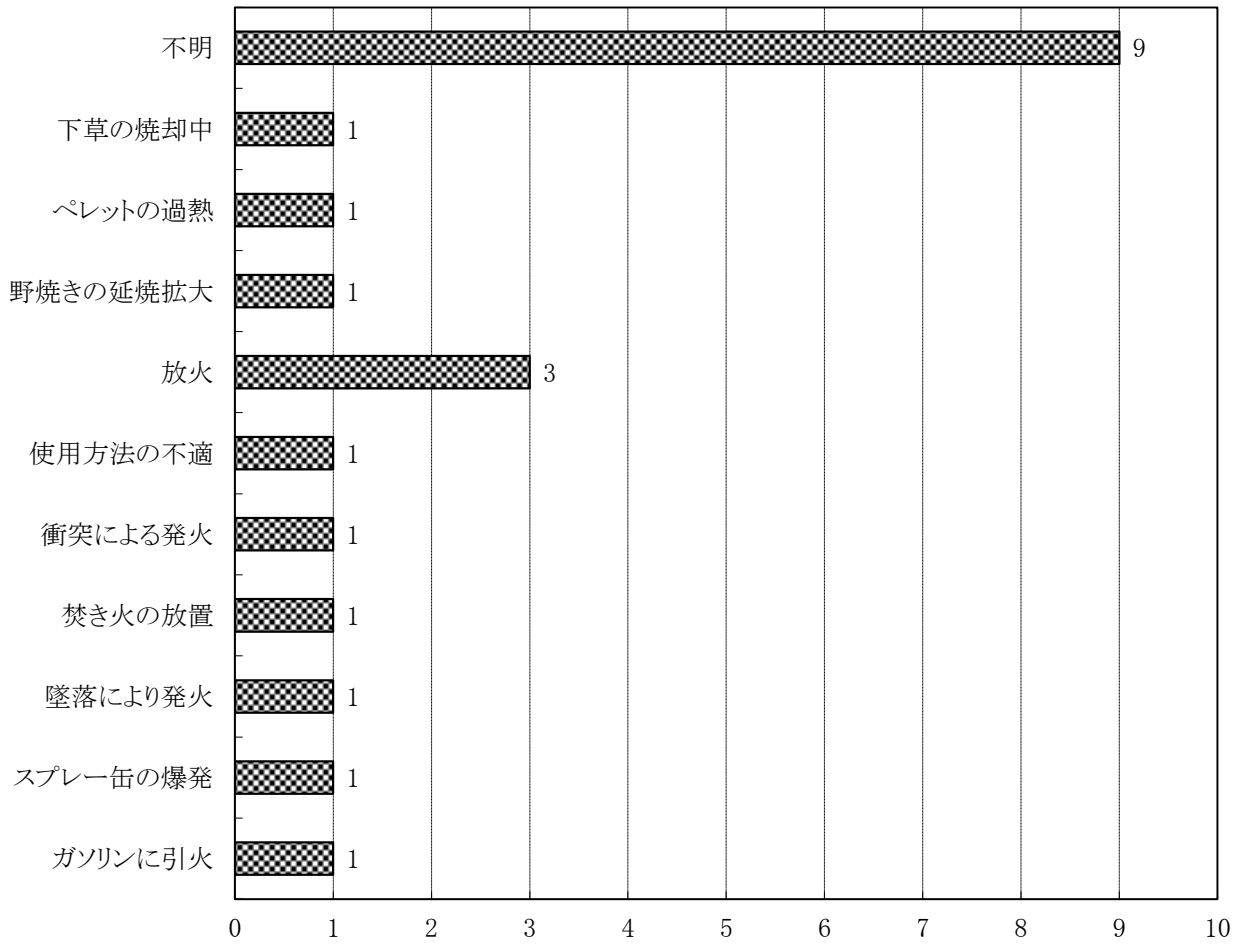


署別・月別火災件数



出火件数を四季別でみると第1四半期（1月～3月）7件、第2四半期（4月～6月）6件、第3四半期（7月～9月）5件、第4四半期（10月～12月）3件となっている。火災は火気使用頻度の多い冬から春先にかけて多く、高温、多湿の夏季は比較的火災が少ないのが例年の状況であるが、平成31年中は一年間を通して火災が発生している。

原因別火災件数



火災・救急・救助以外の出場件数

出場種別	署 別		
	計	西消防署	東消防署
非 火 災	15	10	5
危 険 排 除	31	22	9
怪 煙 偵 察	9	5	4
誤 報	2	1	1
管 外	0	0	0
そ の 他	487	310	177
計	544	348	196

火災概況

平成31年1月～4月
令和元年 5月～12月

火災 番号	出火時刻		鎮火 時分	覚知方法	火災種別	出火場所	火元の用途 又は物件	焼損面積	焼損棟数				損害額 (千円)	死傷者		り災	
	月日	時分							全焼	半焼	部分	ぼや		死者	傷者	世帯	人員
1	1月9日	19:40	20:36	専用 固定	建物	かすみがうら市牛渡地内	車両兼物置	車庫兼物置105.3㎡全焼住宅198.0㎡のうち一部ぼや	1			1	1,199			1	2
2	1月20日	1:00	2:12	専用 携帯	林野	かすみがうら市上佐谷地内	制限林(国有)	雑木林下草60㎡焼失					0				
3	2月13日	15:30	18:08	専用 携帯	建物	かすみがうら市田伏地内	住宅	木造1/0瓦葺住宅171.2㎡全焼 木造1/0瓦葺住宅42㎡全焼	2				36,130			1	4
4	2月14日	6:25	10:26	専用 携帯	建物	かすみがうら市上稲吉地内	作業場	事務所兼作業所 延面積332.4㎡焼損			1		18,485				
5	3月24日	16:30	17:35	専用 固定	その他	かすみがうら市牛渡地内		右足背部及び右足底部Ⅱ度熱傷 左足第4指Ⅱ度熱傷					0		1		
6	3月24日	23:30	3月25日 0:52	専用 固定	建物	かすみがうら市稲吉二丁目地内	飲食店	鉄骨造2/0瓦葺店舗併用共同住宅 334.50㎡のうち、1階店舗39.6㎡焼損			1		3,911		1	1	2
7	3月26日	2:00	4:10	専用 携帯	建物	かすみがうら市下稲吉地内	住宅	木造2/0瓦葺住宅73.8㎡全焼 隣接住宅3棟部分焼	1		3		2,032			3	6
8	4月12日	14:40	15:53	専用 携帯	建物	かすみがうら市雪入地内	置場	木造1/0タン葺置場1棟19.4㎡全焼	1				15				
9	4月28日	19:55	20:12	専用 携帯	建物	かすみがうら市下稲吉地内	住宅	木造2/0瓦葺住宅114.50㎡のうち 台所のレンジフード1機焼損				1	4			1	5
10	5月11日	14:20	16:55	専用 携帯	建物	かすみがうら市南根本地内	納屋	木造1/0タン葺納屋29.7㎡全焼	1				122				
11	5月19日	14:00	15:24	専用 携帯	建物	かすみがうら市坂地内	堆肥舎	木造1/0折板タン葺堆肥舎196.0㎡の うち、外壁36.0㎡焼損。収容物(おが 粉)56.0㎡焼損			1		111				
12	5月31日	10:30	11:39	専用 携帯	建物	かすみがうら市宍倉地内	住宅(共同住宅)	木造2/0コロニアル葺共同住宅224.4㎡ の内145.0㎡焼損			1		26,725			5	11
13	6月1日	2:20	2:39	専用 携帯	車両	かすみがうら市稲吉南地内	乗用自動車	普通乗用車の助手席側前後フェン ダー及びタイヤ部分一部焼損					22				
14	7月17日	0:10	0:27	専用 固定	車両	常磐自動車道(中佐谷)	乗用自動車	普通乗用車フロント部分一部焼損					100				

火災概況

平成31年1月～4月
令和元年 5月～12月

火災 番号	出火時刻		鎮火 時分	覚知方法	火災種別	出火場所	火元の用途 又は物件	焼損面積	焼損棟数				損害額 (千円)	死傷者				り災 人員
	月日	時分							全焼	半焼	部分	ぼや		死者	傷者	世帯	人員	
15	8月6日	9:30	10:30	専用 携帯	車両	かすみがうら市上志筑地内	油圧シヨベル	油圧シヨベル1台焼損					250					
16	8月6日	18:25	18:57	専用 携帯	建物	かすみがうら市牛渡地内	物置	鉄骨造1/0トタン葺物置4.53㎡全焼	1				327					
17	9月11日	15:00	15:10	加入 警察電話	その他	かすみがうら市上稲吉地内		壊れた角材30本及び携行缶1缶焼損 及び高所作業車1台					360					
18	9月30日	7:00	8:32	専用 固定	建物	かすみがうら市安食地内	住宅	木造2/0瓦葺住宅98.6㎡全焼及び隣 家木造2/0瓦葺住宅のサンルームテラ ス一部焼損	1			1	2,082	1			2	4
19	10月20日	11:30	11:57	専用 携帯	航空機	かすみがうら市新治地内	超軽量動力機 (ウルトラライトプレーン)	ウルトラライトプレーン 1機焼損					3,000	1	1			
20	11月15日	10:45	11:45	専用 携帯	その他	かすみがうら市中台地内		75歳男性左顔面Ⅱ度熱傷					0		1			
21	12月25日	13:59	16:39	専用 固定	建物	かすみがうら市宍倉地内	住宅	木造2/0瓦葺2世帯住宅1棟160.3㎡の うち12.1㎡焼損				1	1,695				2	5

警 防（救急・救助）

- 1 月別・事故種別救急出場件数
- 2 救急出場件数の推移
- 3 事故種別救急活動状況
- 4 年齢別・事故種別搬送人員
- 5 傷病程度別搬送人員
- 6 署別・事故種別救急出場件数及び搬送人員
- 7 曜日別救急出場件数
- 8 覚知別救急出場件数
- 9 傷病程度別搬送人員の推移
- 10 医療機関別搬送人員
- 11 医療機関搬送先状況
- 12 救助活動状況
- 13 救助出場状況
- 14 救助出場件数
- 15 署別普通救命講習会
- 16 応急手当普及啓発活動の推移
- 17 ドクターヘリ運用推移
- 18 ドクターカー運用推移

月別・事故種別救急出場件数

月 別	署 別		事 故 種 別											計
	西 消 防 署	東 消 防 署	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
1	103	75	1	0	0	14	0	0	23	0	0	139	1	178
														0
2	88	57	2	0	0	16	3	1	23	0	2	98	0	145
	(3)											(3)		(3)
3	90	52	5	0	0	16	1	0	19	0	0	98	3	142
	(2)					(1)						(1)		(2)
4	87	64	1	0	0	5	2	1	25	0	1	115	1	151
														0
5	89	63	4	0	0	12	0	0	25	1	0	109	1	152
														0
6	83	52	1	0	0	9	4	3	14	1	3	99	1	135
														0
7	88	58	2	0	0	16	1	2	22	0	2	98	3	146
	(4)					(1)						(3)		(4)
8	99	74	2	0	0	21	2	2	27	1	1	116	1	173
	(1)											(1)		(1)
9	91	51	2	2	1	8	3	0	27	0	2	97	0	142
	(1)					(1)								(1)
10	94	64	2	0	0	17	2	1	29	1	3	100	3	158
	(1)											(1)		(1)
11	90	69	2	0	0	14	2	2	33	2	0	103	1	159
	(3)					(2)						(1)		(3)
12	110	78	1	0	0	13	4	0	31	0	2	133	4	188
														0
合計	1,112	757	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19	1,869
	(15)	0	0	0	0	(5)	0	0	0	0	0	(10)	0	(15)

※ 下段（ ）内は、高速道路の出場件数を表す。

署 別	西 消 防 署	15	0	0	98	13	6	180	4	13	772	11	1,112
	東 消 防 署	10	2	1	63	11	6	118	2	3	533	8	757

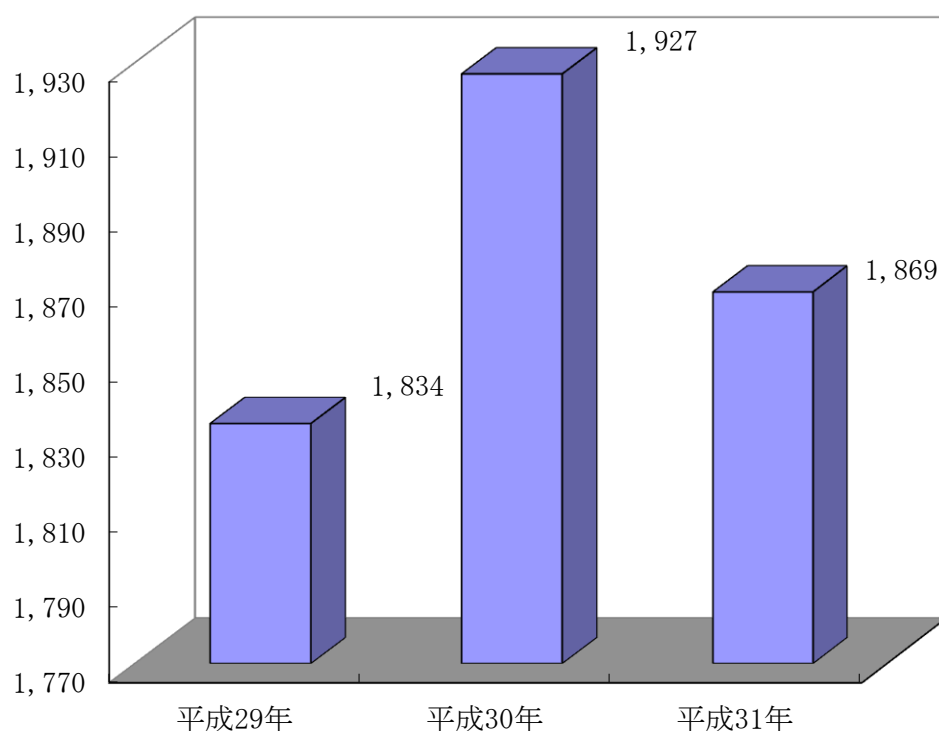
救急出場件数の推移

年別	事故種別	出場件数	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成29年		1,834	12	0	4	229	18	23	269	11	15	1,228	25
平成30年		1,927	24	0	2	222	24	13	263	5	15	1,334	25
平成31年		1,869	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19

救急業務は、昭和38年に市町村の消防機関の事務として法制化され、平成3年8月には、プレホスピタル・ケア充実のため、救急隊員の行う救急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行う救急救命士の制度が設けられた。

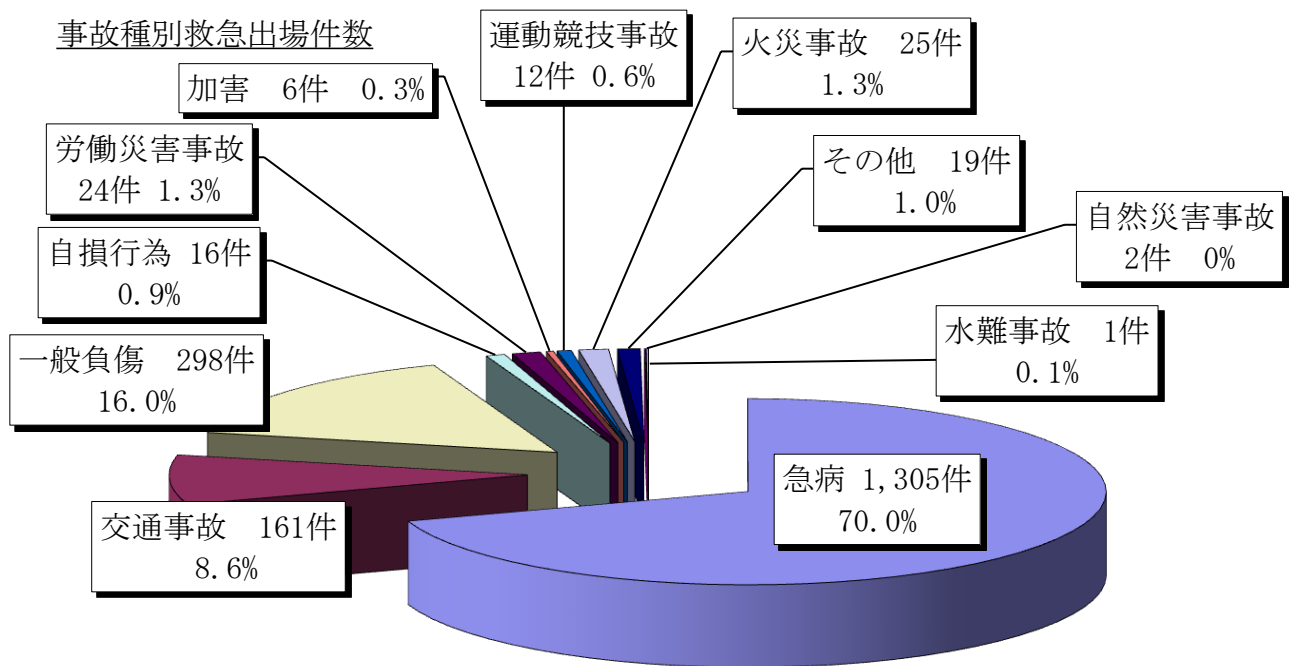
平成15年4月から、救急救命士が行う処置は順次拡大され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。過去3年間におけるかすみがうら市内の救急出場件数は下表のとおりである。

平成31年における市内の救急業務実施状況は、救急出動件数1,869件、搬送人員1,740人であり、1日平均5.1件の割合で救急隊が出動し、市民の約24人に1人が搬送されたことになる。減少の理由としては、昨年と比較し夏季時期における急病件数が減少している傾向がある。特に7月を比較すると、平均気温が4度低く、熱中症の件数も昨年の48件から10件減少し、38件となっている。このことから、気温の低下が熱中症件数の減少や疾病の悪化減少に結びついたと考えられる。また市内の交通事故による出場要請件数が減少していることがあげられる。



事故種別救急活動状況

種 別	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
出 場 件 数	1,869	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19
搬 送 件 数	1,721	4	0	0	149	24	12	282	4	12	1,227	7
不 搬 送 件 数	148	21	2	1	12	0	0	16	2	4	78	12
搬 送 人 員	1,740	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7



事故種別の定義

- 火 災 事 故 ・ ・ 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう
- 自 然 災 害 事 故 ・ ・ 暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう
- 水 難 事 故 ・ ・ 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう
- 交 通 事 故 ・ ・ すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関と接触したことなどによる事故をいう
- 労 働 災 害 事 故 ・ ・ 各種工場、事業所、作業場、工事現場等において就業中発生した事故をいう
- 運 動 競 技 事 故 ・ ・ 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう
- 一 般 負 傷 ・ ・ 他に分類されない不慮の事故をいう
- 加 害 ・ ・ 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう
- 自 損 行 為 ・ ・ 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう
- 急 病 ・ ・ 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう
- そ の 他 ・ ・ 転院搬送、医師搬送、医薬資器材等輸送、その他の種別に分類不能のもの並びに誤報及びいたづらをいう

年齢別・事故種別搬送人員

種 別 性別・年齢	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	損	病	の	
		事	災	事	事	災	競	負	害	損	病	他
		故	害	故	故	害	技	傷	害	為	病	他
男	933	4	0	0	101	21	10	156	2	5	633	1
女	807	0	0	0	63	3	2	126	2	7	598	6
合 計	1,740	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7
新 生 児 (生後28日以内)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
乳 幼 児 (29日～7歳未満)	67	0	0	0	3	0	0	18	0	0	43	3
少 年 (7歳～18歳未満)	59	0	0	0	9	0	7	11	0	0	31	1
成 人 (18歳～65歳未満)	545	3	0	0	112	17	5	48	3	10	346	1
老 人 (65歳以上)	1,068	1	0	0	40	7	0	205	1	2	810	2

傷病程度別搬送人員

種 別 程度別	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		災	然	難	通	働	動	般	損	損	病	の
		事	災	事	事	災	競	負	害	損	病	他
		故	害	故	故	害	技	傷	害	為	病	他
死 亡	33	0	0	0	1	0	0	2	0	0	30	0
重 症	154	0	0	0	4	3	0	19	0	2	125	1
中 等 症	638	2	0	0	30	11	3	93	0	3	490	6
軽 症	914	2	0	0	129	10	9	168	4	6	586	0
そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合 計	1,740	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7

死 亡・・・初診時において死亡が確認されたもの。

重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症・・・傷病の程度が入院加療を必要とし、その期間が3週間未満のもの。

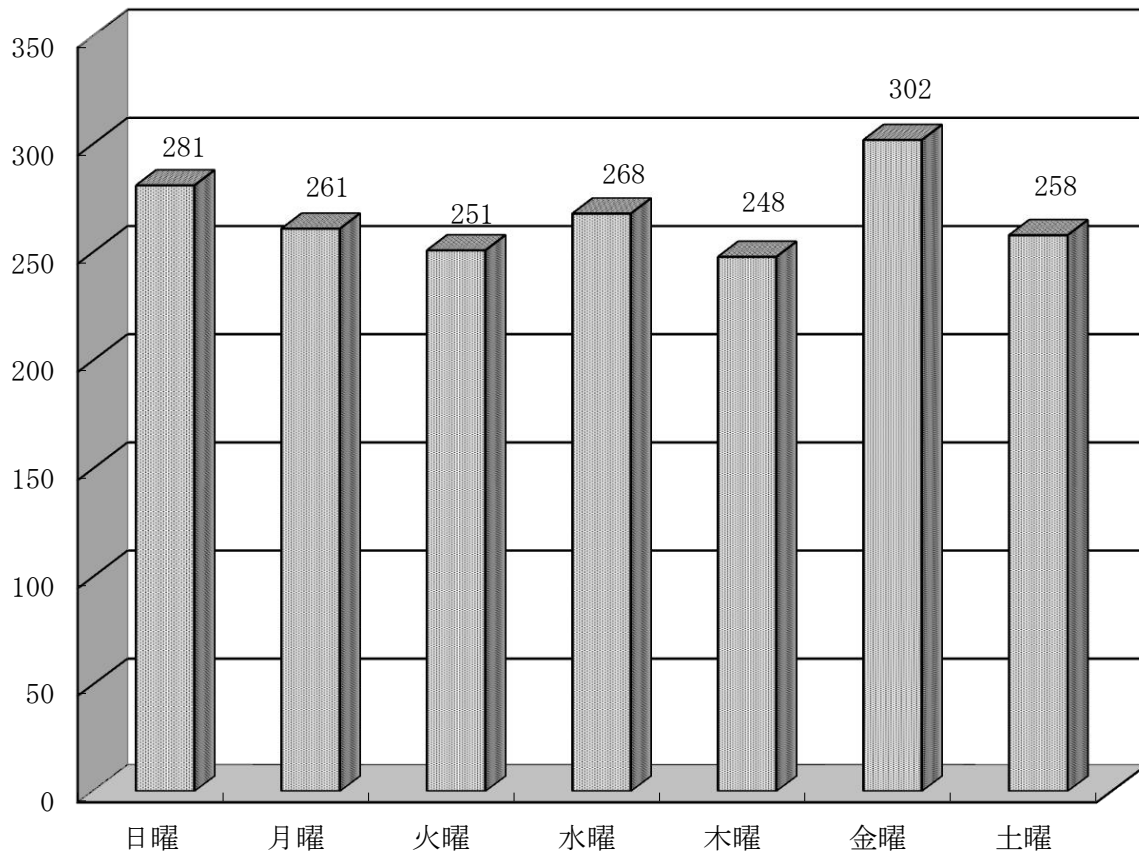
軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他・・・診察拒否等、医師の診断がないもの。

署別・事故種別救急出場件数及び搬送人員

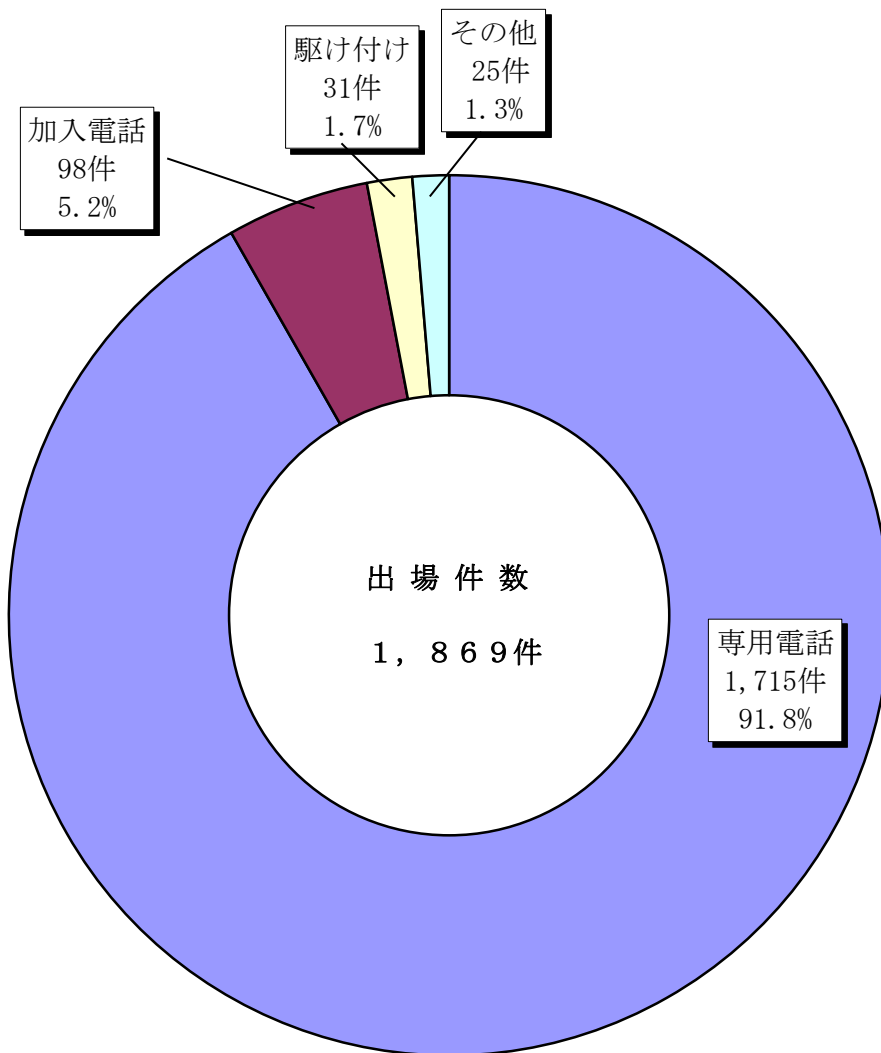
事故種別 署別		火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	医薬資器材等輸送	その他	
西消防署	出場	15	0	0	98	13	6	180	4	13	772	7	0	0	4	1,112
	搬送	2	0	0	97	13	6	171	3	9	730	7	0	0	0	1,038
東消防署	出場	10	2	1	63	11	6	118	2	3	533	0	0	0	8	757
	搬送	2	0	0	67	11	6	111	1	3	501	0	0	0	0	702
合計	出場	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	7	0	0	12	1,869
	搬送	4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7	0	0	0	1,740

曜日別救急出場件数

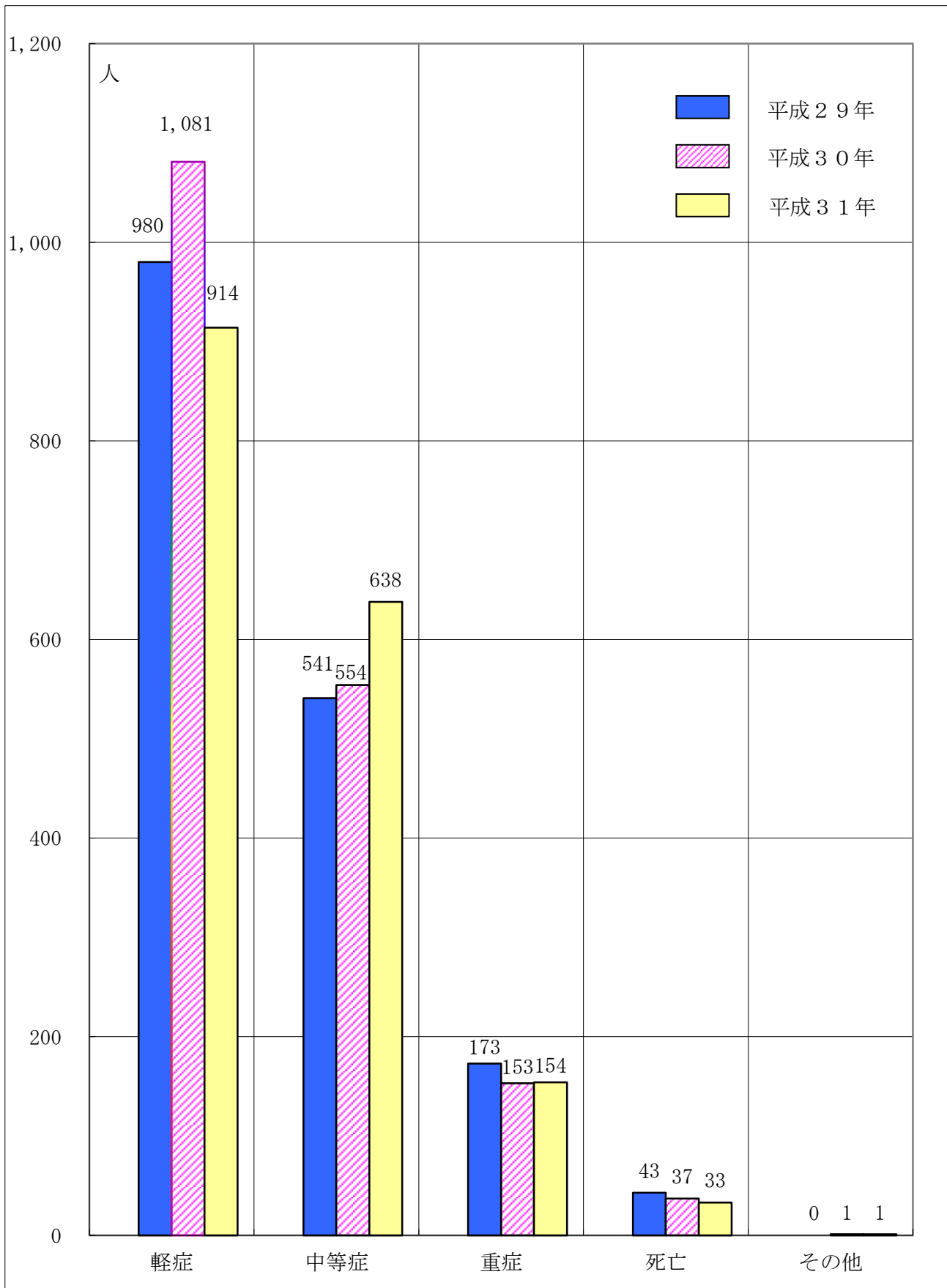


覚知別救急出場件数

覚知別 事故種別	合 計	専用電話	加入電話	駆け付け	そ の 他
急 病	1,305	1,212	67	24	2
交 通	161	138	6	0	17
一 般 負 傷	298	272	21	5	0
そ の 他	105	93	4	2	6
合 計	1,869	1,715	98	31	25



傷病程度別搬送人員の推移



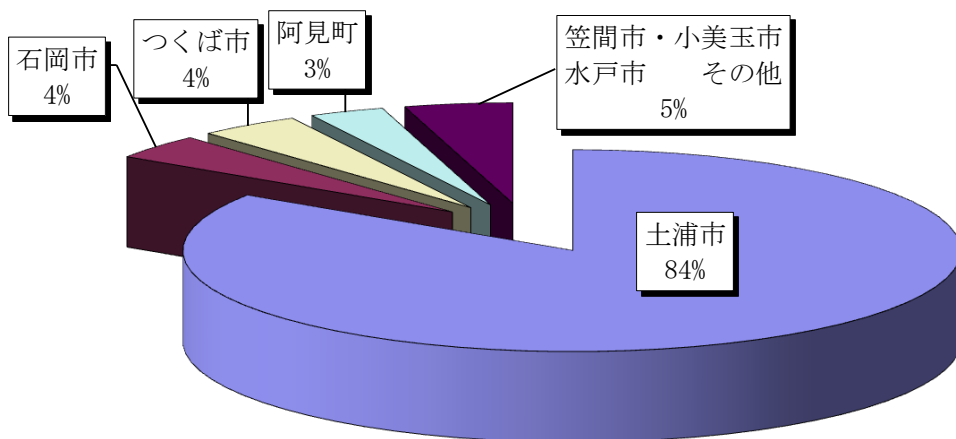
医療機関別搬送人員

市町村別	病院別 事故種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		事	害	事	事	事	事	負	害	行	他		
		故	事	故	故	故	故	傷		為	病	他	
土浦市	土浦協同病院	4	0	0	60	13	7	152	3	10	763	7	1,019
	神立病院	0	0	0	54	4	4	77	1	1	138	0	279
	霞ヶ浦医療センター	0	0	0	17	2	0	12	0	0	110	0	141
	その他の病院	0	0	0	1	1	0	4	0	0	21	0	27
石岡市	山王台病院	0	0	0	11	0	0	5	0	0	32	0	48
	石岡第一病院	0	0	0	0	0	0	4	0	0	10	0	14
	石岡医師会病院	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0	5
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
つくば市	筑波メディカルセンター病院	0	0	0	1	0	1	5	0	1	13	0	21
	筑波大学附属病院	0	0	0	1	0	0	2	0	0	25	0	28
	筑波記念病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4
阿見町	東京医大茨城医療センター	0	0	0	7	1	0	4	0	0	42	0	54
	その他の病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
笠間市	茨城県立中央病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
小美玉市	石岡循環器科脳神経外科病院	0	0	0	9	2	0	11	0	0	40	0	62
水戸市	水戸医療センター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	水戸済生会病院	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	0	6
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
合計		4	0	0	164	24	12	282	4	12	1,231	7	1,740

(人)

医療機関別に搬送人員をみると、土浦協同病院が最も多く1,019人で次いで神立病院の279人となっている。また、市町村別医療機関の搬送人員をみると、土浦市内の医療機関への搬送が84%とほぼ大半を占めている。

医療機関搬送先状況



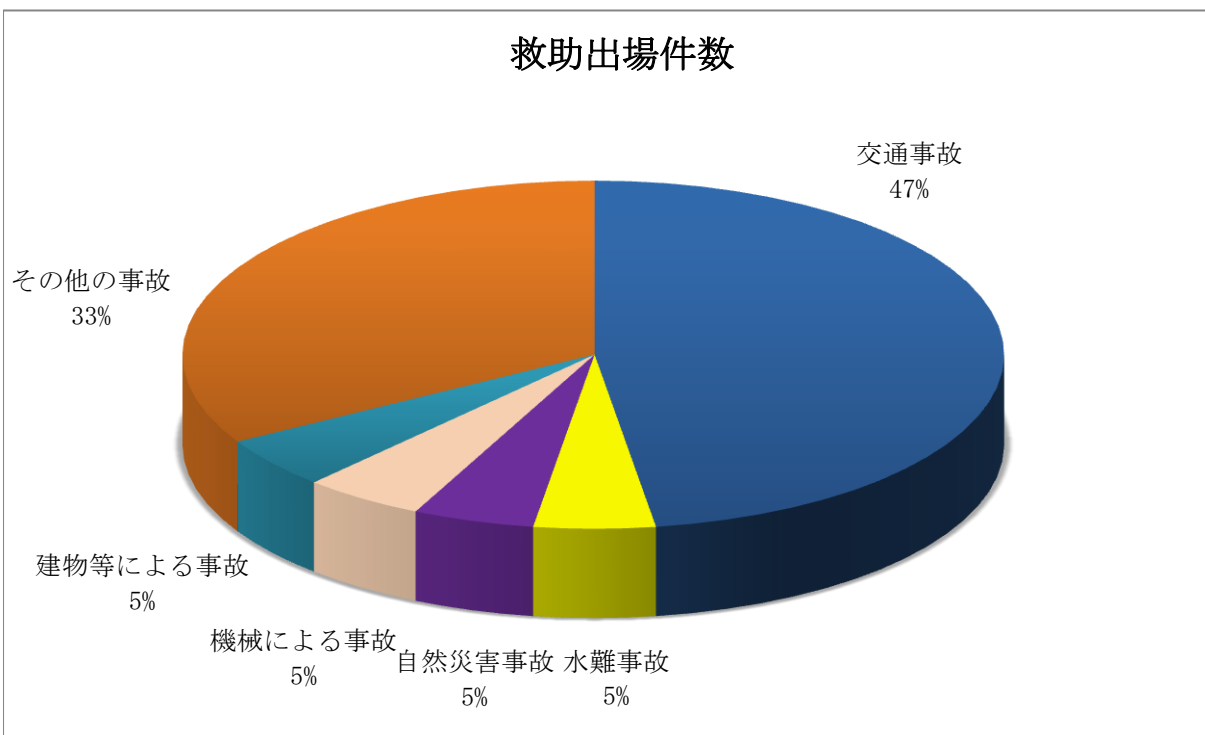
救助活動状況

平成31年における当消防本部の救助活動状況は、出場件数21件のうち活動件数は19件、救出した人員は15人でした。原因別に見ると交通事故による救助活動が最も多く10件、次いでその他の事故となっています。昨年と比べると、交通事故、建物等による事故、その他の事故の出場件数は減少し、自然災害事故、機械による事故の出場件数は増加という結果となりました。

救助出場状況

事故種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	よ る 事 故 及 び 事 故	ガ ス 欠 乏 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数	0	0	10	1	1	1	1	0	0	0	7	21
出 場 人 員	0	0	118	32	26	10	9	0	0	0	66	261
活 動 件 数	0	0	10	0	1	1	0	0	0	0	7	19
活 動 人 員	0	0	103	0	17	10	0	0	0	0	47	177
救 出 人 員	0	0	9	0	1	1	0	0	0	0	4	15

救助出場件数



署別普通救命講習会

署 別	講 習 種 目	回 数	受 講 者 数
西消防署	普通救命講習会入門コース	5	233
	普通救命講習会Ⅰ	7	148
	普通救命講習会Ⅱ	3	42
	普通救命講習会Ⅲ	1	1
	合 計	16	424
東消防署	普通救命講習会入門コース	2	30
	普通救命講習会Ⅰ	1	33
	普通救命講習会Ⅱ	0	0
	普通救命講習会Ⅲ	2	17
	合 計	5	80
合 計	普通救命講習会入門コース	7	263
	普通救命講習会Ⅰ	8	181
	普通救命講習会Ⅱ	3	42
	普通救命講習会Ⅲ	3	18
	合 計	21	504

◇普通救命講習会入門コース 90分講習（概ね10歳以上）

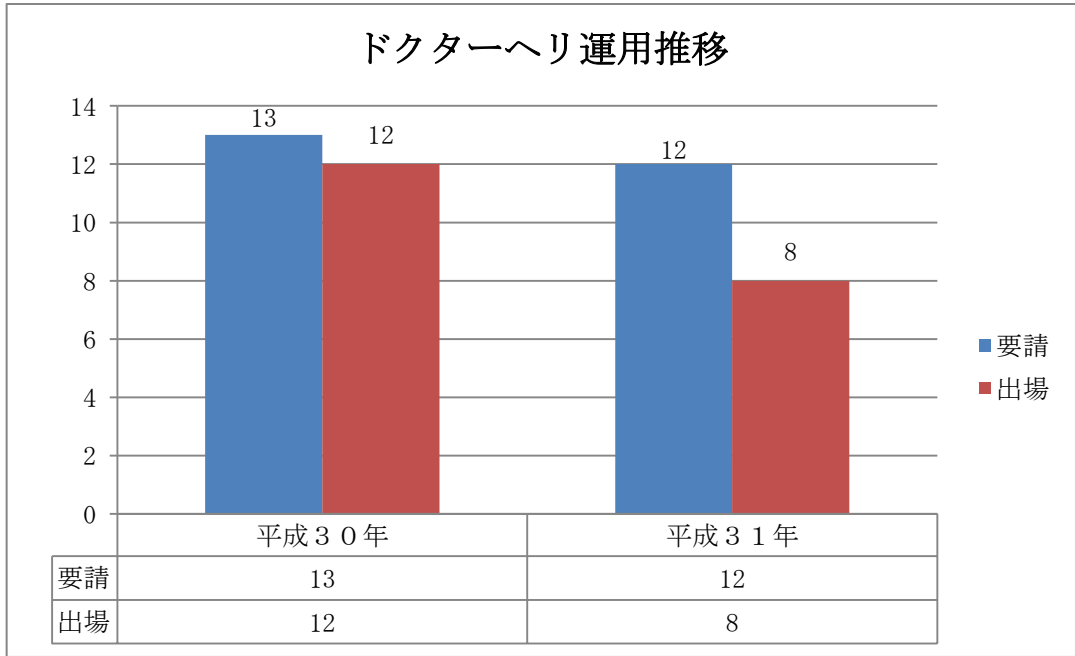
◇普通救命講習会Ⅰ 3時間講習（一般の方）

◇普通救命講習会Ⅱ 4時間講習（福祉施設、スポーツインストラクター等、仕事内容から一定の頻度で心肺停止者に対し、応急対応を期待される人）

◇普通救命講習会Ⅲ 3時間講習（保育士や小さなお子さんがいる母親など仕事や一般生活で小児、乳児、新生児の心肺停止者に対し応急対応を期待される人）

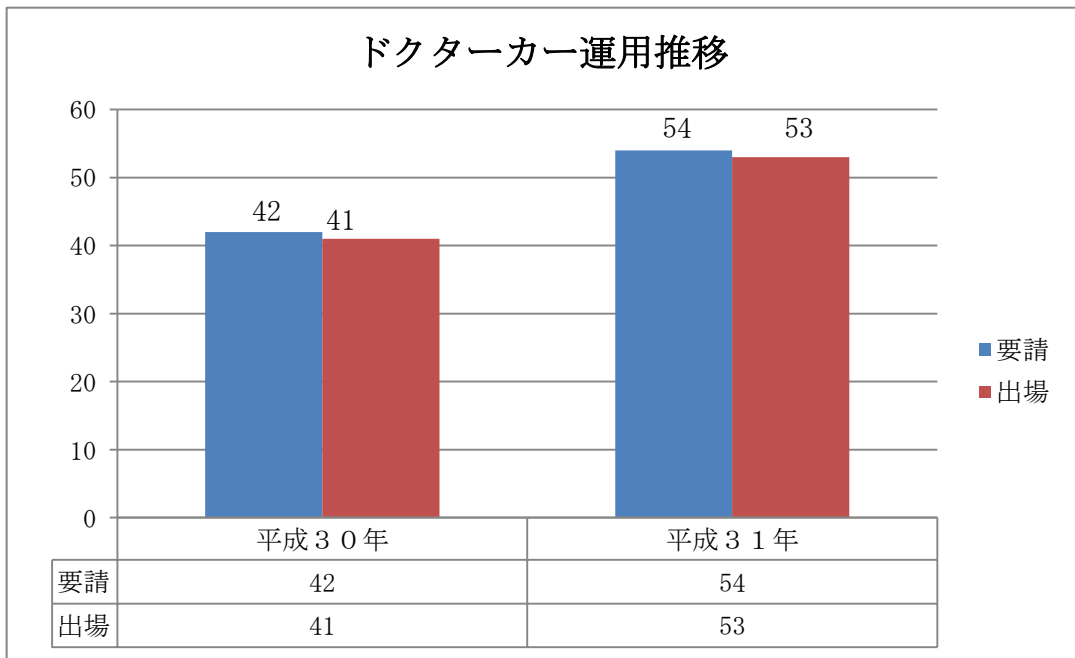
応急手当普及啓発活動の推移

講 習 種 目	平成28年		平成29年		平成30年		平成31年	
	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数
普通救命講習会	39	932	33	773	28	674	21	504
一般救急講習会	9	689	9	789	16	1752	20	1,259
合 計	48	1,621	42	1,562	44	2,426	41	1,763



救急現場において、以下の条項が認められているときに要請します。

- ・ 生命の危機が切迫しているか、その可能性があるとき
- ・ 重症患者であって搬送に長時間を要することが予想される時
- ・ 特殊救急患者（重症熱傷，多発外傷，四肢切断）で搬送時間の短縮を特に図るとき
- ・ 救急現場で緊急診断処置に医師を必要とする時
- ・ 多発傷病者発生の場合



＊ドクターヘリ・ドクターカー出場件数

平成31年におけるかすみがうら市への出場件数は以下のとおりである。

- ・ ドクターヘリ かすみがうら市への出場
（平成30年：12件 平成31年：8件）
- ・ 土浦協同病院ドクターカー かすみがうら市への出場
（平成30年：41件 平成31年：53件）

予 防

- 1 防火対象物の現況及び立入検査状況
- 2 建築同意事務処理状況
- 3 消防用設備等設置届出状況
- 4 防火管理者選任等の現況
- 5 火災予防条例による届出状況
- 6 危険物施設の現況及び立入検査状況
- 7 危険物施設の許可・認可届出状況

防火対象物の現況及び立入検査状況

平成31年度

用 途 別		防火対象物数	立入検査状況	実施率	
1	イ	劇場又は映画館等			
	ロ	公会堂又は集会場	51	0	0%
2	イ	キャバレー又はカフェー			
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	0	0%
	ハ	風 俗 営 業 等			
	ニ	個 室 型 店 舗 等			
3	イ	待 合 ， 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	28	2	7%
4		百貨店，マーケット等	60	14	23%
5	イ	旅館，ホテル又は宿泊所	9	0	0%
	ロ	寄宿舍，下宿又は共同住宅	389	2	1%
6	イ	病院，診療所又は助産所	20	0	0%
	ロ	老人短期入所施設，養護老人ホーム等	34	1	3%
	ハ	老人デイサービスセンター，保育所等	40	4	10%
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	5	0	0%
7		小学校，中学校又は高等学校	42	0	0%
8		図書館，博物館，美術館等	4	0	0%
9	イ	蒸気浴場，熱気浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10		車両の停車場等			
11		神社，寺院，教会等	6	0	0%
12	イ	工場又は作業場	279	4	1%
	ロ	映画スタジオ，テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場	10	0	0%
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉 庫	331	8	2%
15		前各項に該当しない事業場	219	6	3%
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	42	9	21%
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	36	0	0%
17		重 要 文 化 財 等	6	1	17%
合 計		1,612	51	3%	

建築同意事務処理状況

平成31年度

種 別	月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新 築		2	1	3	5	2	4	2	2	2	1	1	4	29
増 築		2					1						1	4
改 築														
移 転														
修 繕														
模 様 替														
用 途 変 更														0
そ の 他					1			2						3
合 計		4	1	3	6	2	5	4	2	2	1	1	5	36

消防用設備等設置届出状況

平成31年度

種 別	届出数
消 火 器	54
屋 内 消 火 栓 設 備	4
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	3
水 噴 霧 消 火 設 備 等	1
屋 外 消 火 栓 設 備	3
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	
自 動 火 災 報 知 設 備	36
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	
漏 電 火 災 警 報 器	
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	2
非 常 警 報 (放 送) 設 備	5
避 難 器 具	
誘 導 灯 (誘 導 標 識)	42
消 防 用 水	
排 煙 設 備	
連 結 散 水 設 備	
非 常 コ ン セ ン ト 設 備	
連 結 送 水 管	
合 計	150

防火管理者選任等の現況

平成31年度

用途別		事業所数	防火管理	選任率	消防計画	
1	イ	劇場又は映画館等				
	ロ	公会堂又は集会場	45	11	24.4%	6
2	イ	キャバレー又はカフェー				
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	0	0.0%	0
	ハ	風俗営業等				
	ニ	個室型店舗等				
3	イ	待合，料理店等				
	ロ	飲食店	24	14	58.3%	8
4		百貨店，マーケット等	48	34	70.8%	25
5	イ	旅館，ホテル又は宿泊所	6	6	100.0%	5
	ロ	寄宿舎，下宿又は共同住宅	13	8	61.5%	5
6	イ	病院，診療所又は助産所	1	1	100.0%	1
	ロ	老人短期入所施設，養護老人ホーム等	28	26	92.9%	24
	ハ	老人デイサービスセンター，保育所等	15	15	100.0%	14
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	0	0.0%	0
7		小学校，中学校又は高等学校	13	12	92.3%	12
8		図書館，博物館，美術館等	3	3	100.0%	2
9	イ	蒸気浴場，熱気浴場等				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10		車両の停車場等				
11		神社，寺院，教会等	4	3	75.0%	2
12	イ	工場又は作業場	28	27	96.4%	23
	ロ	映画スタジオ，テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場				
	ロ	飛行機等の格納庫				
14		倉庫	5	5	100.0%	4
15		前各項に該当しない事業場	28	25	89.3%	16
16	イ	複合用途防火対象物（特定）	31	18	58.1%	10
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2	0	0.0%	0
17		重要文化財等				
合 計		297	208	70.0%	157	

火災予防条例による届出状況

平成31年度

種 別	月 別												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
防火対象物使用開始	1		1	3	4	6	6	5	3		5	6	40
炉・かまど設備等					2								2
厨房設備							1						1
ボイラー設備					1	1	1	2					5
乾燥設備					12								12
サウナ設備													0
変電設備	1		2	1	1		3	1	3		4	1	17
発電設備							1		3		2		6
蓄電池設備		1		2	1	2	1						7
ネオン管灯設備													0
水素ガス管灯設備													0
水素ガスを充てんする気球													0
火災とまぎわらしい行為	9	4	1	2			6	6	10	21	18	19	96
煙火の打上又は仕掛け		3	3	3	1	1	2						13
催物開催					1				1				2
水道の断水又は減水							1						1
道路工事	4	3	5	5	5	4	7	6	5	5	3	5	57
指定洞道等													0
少量危険物貯蔵取扱					1	7	1	1		1		1	12
指定可燃物貯蔵取扱					1	6				1			8
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等の貯蔵取扱	1					1	2	1		1	3	2	11
合 計	16	11	12	16	30	28	32	22	25	29	35	34	290

危険物施設の現況及び立入検査状況

平成31年度

種 別 区 別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
施 設 数	6	42	27	3	28	1	29	1	49			30	216
立 入 検 査 数					1		29		4			4	38
実 施 率	0%	0%	0%	0%	4%	0%	100%	0%	8%			13%	18%

危険物施設の許可・認可届出状況

平成31年度

種 別 区 別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許可申請	設 置		1				3						4
	変 更	5	1	3			2		3			6	20
完成検査 申 請	設 置		1				3						4
	変 更	4	1	3			3		3			8	22
仮貯蔵仮取扱承認申請													0
予防規定 認可申請	制 定												0
	変 更			6					5			2	13
保安監督 者 届 出	選 任		3	6					3			3	15
	解 任		2	6					3			3	14
譲 渡 引 渡 届 出													
廃 止 届 出													
種類・指定数量変更届出													1
資 料 提 出 届													1
漏 洩 措 置 計 画													0
L P G に 係 る 意 見 書													0
合 計		10	15	33	0	10	3	24	0	38		27	160

消 防 施 設

- 1 消防車両の現勢
- 2 消防車両等の配置状況
- 3 消防水利の現況
- 4 通信指令装置の機器構成表
- 5 消防通信系統図
- 6 無線一覧
- 7 気象状況

消防車両の現勢

所属	車両種別	車両名	年式	購入年月日	備考
消防本部	指揮車	日産 セレナ	H24	H24.10.10	
	連絡車	トヨタ プリウスa	R1	R1.10.17	
	査察車	トヨタ ハイエース	H30	H30.12.26	
	広報車	日産 クリッパー	R2	R2.1.9	
	団指揮車	日産 キャラバン	H30	H30.12.21	
	資機材搬送車	日野 デュトロ	H30	H30.12.19	
消防署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 改 BDG-GX7JGWA	H23	H23.3.11	水Ⅰ-A型 A2級 CAFS付
	消防ポンプ自動車	日野 TKG-XZU685	H26	H26.2.12	CD-I型 A2級 CAFS付
	化学消防ポンプ自動車	いすゞ KC-FSR33G4V	H9	H9.11.26	化Ⅱ型
	救助工作車	日野 改 SDG-GX7JGAA	H30	H30.3.15	救Ⅱ型
	指揮車	日産 エクストレイル	H29	H29.9.25	
	救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H28	H28.9.23	高規格救急車 西A1
	救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H19	H19.3.22	高規格救急車 西A2
	救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	H22	H22.2.18	高規格救急車 西A3
消防署	水槽付消防ポンプ自動車	日野 改 SDG-GX7JGAA	H23	H23.12.26	水Ⅰ-A型 A2級 CAFS付
	消防ポンプ自動車	いすゞ KK-NHR.71GN	H11	H11.10.4	(社)日本損害保険寄贈 CD-I型 A1級
	指揮車	日産 エクストレイル	H28	H28.12.19	
	救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S	R2	R2.2.25	高規格救急車 東A1
	救助艇	ヤマハ	H18	H18.1.14	

消防車両等の配置状況

令和2年4月1日現在

車両種別 所属別	救助 工作車	化学 ポンプ 自動車 消防	水 槽付 ポンプ 自動車 消防	消 ポン プ自 動車 防	救 急 車	指 揮 車	団 指 揮 車	査 察 車	広 報 車	連 絡 車	救 助 艇	資 機 材 搬 送 車	合 計
消防本部						1	1	1	1	1		1	6
西消防署	1	1	1	1	3	1							8
東消防署			1	1	1	1					1		5
計	1	1	2	2	4	3	1	1	1	1	1	1	19

消防水利の現況

平成31年度

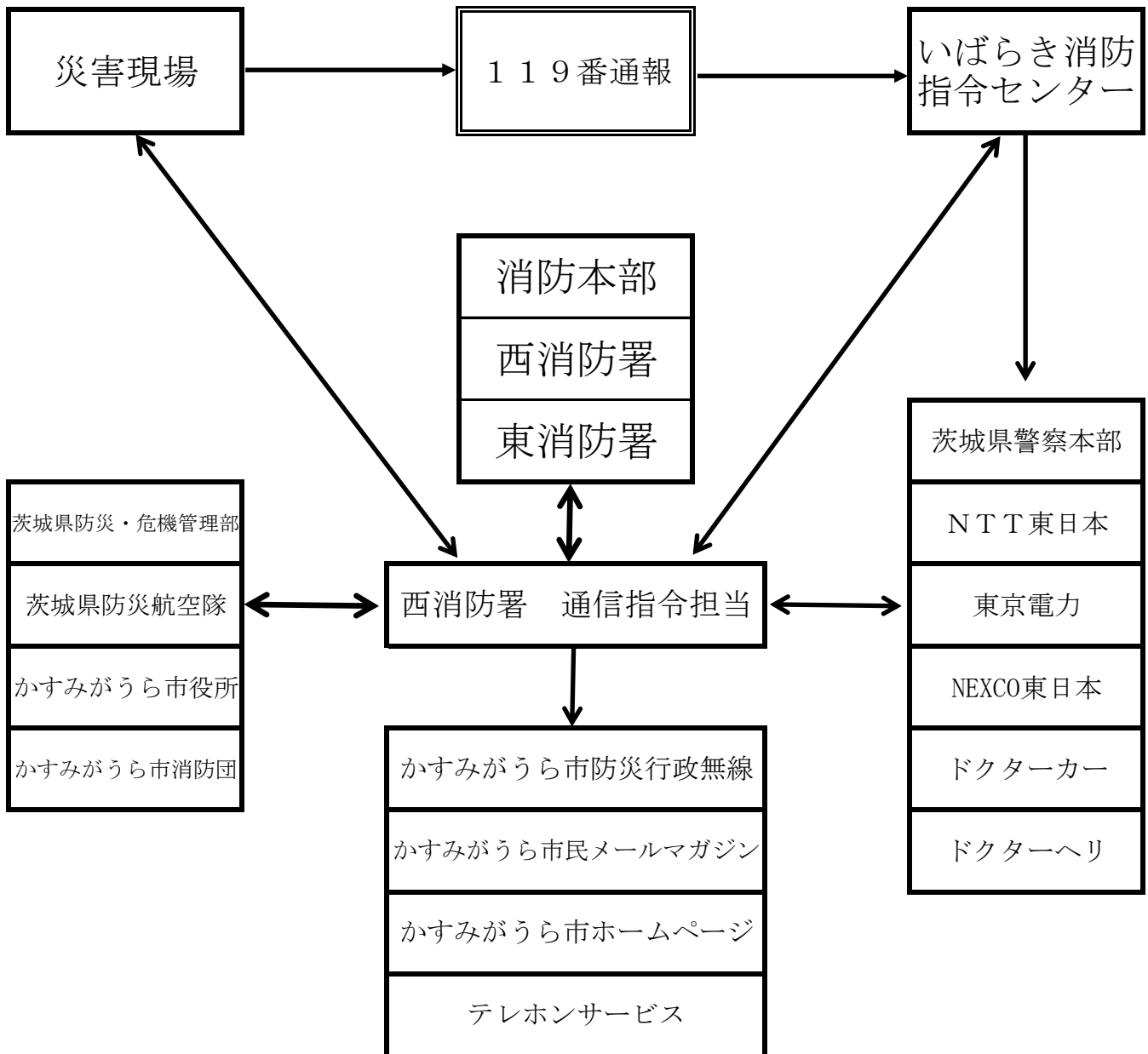
種 別		かすみがうら市	
消 火 栓	公 設	1,079	
	私 設	0	
	計	1,079	
防 火 水 槽	公 設	100 m ³ 以上	2 (1)
		60～100 m ³ 未満	29 (19)
		40～60 m ³ 未満	350 (147)
		20～40 m ³ 未満	57
		20 m ³ 未満	260
	私 設	100 m ³ 以上	9 (1)
		60～100 m ³ 未満	8 (2)
		40～60 m ³ 未満	135 (91)
		20～40 m ³ 未満	18
		20 m ³ 未満	5
計		873 (261)	
その他	河 川・ 溝 等	11	
	プ ー ル	13	
	濠 ・ 池 等	10	
	計	34	
合 計		1,986 (261)	

() 内は耐震性防火水槽

通信指令装置の機器構成表状況

	機 器 名 称	備 考
消 防 本 部 ・ 西 消 防 署	1 衛星携帯電話（1台）	
	2 遠隔制御装置（全基地局対応可能）	
	3 署所端末装置（一式）	
	4 無線指令受令装置（一式）	
	5 指令伝送出力装置	
	6 指令伝送出力装置用プリンタ（一式）	
	7 情報共有端末装置（署所設備）（一式）	
	8 40型液晶表示盤（一式）	
	9 車両運用支援システム・端末装置（一式）	
	10 車両運用支援システム・署所用無停電電源装置（一式）	
	11 車両運用端末装置（Ⅲ-1型）（10台）	
	12 車外設定端末装置（1か所）（3台）	
	13 車外設定端末装置（2か所）（4台）	
	14 可搬型移動局無線装置（1台）	
	15 車載無線（10台）	
	16 携帯無線機（14台）	
	17 署轄系無線機（30台）	
東 消 防 署	1 衛星携帯電話（1台）	
	2 卓上型固定移動局無線装置（1台）	
	3 署所端末装置（一式）	
	4 無線指令受令装置（一式）	
	5 指令伝送出力装置（一式）	
	6 指令伝送出力装置用プリンタ（一式）	
	7 情報共有端末装置（署所設備）（一式）	
	8 43型液晶表示盤（一式）	
	9 車両運用支援システム・署所用無停電電源装置（一式）	
	10 車両運用端末装置（Ⅲ-1型）（4台）	
	11 車外設定端末装置（1か所）（1台）	
	12 車外設定端末装置（2か所）（2台）	
	13 可搬型移動局無線装置（1台）	
	14 車載無線（4台）	
	15 携帯無線機（6台）	
	16 署轄系無線機（10台）	

消防通信系統図



無 線 一 覧

配置	種類	呼 出 名 称
本 部	基 地	しょうぼうえんかくかすみがうら
東 署	〃	かすみがうらひがしこてい1
本 部	移 動 (車載)	かすみがうらほんぶゆそう1
〃	〃	かすみがうらほんぶしき1
西 署	〃	かすみがうらにししき1
〃	〃	かすみがうらにしたんく1
〃	〃	かすみがうらにしぽんぷ1
〃	〃	かすみがうらにしたんく2
〃	〃	かすみがうらにしきゅうじょ1
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう1
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう2
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう3
東 署	〃	かすみがうらひがしたんく1
〃	〃	かすみがうらひがしぽんぷ1
〃	〃	かすみがうらひがししき1
〃	〃	かすみがうらひがしきゅうきゅう1
本 部	移動 (可搬型)	かすみがうらほんぶ601
東 署	〃	かすみがうらひがし601
本 部	携 帯	かすみがうらほんぶ201
〃	〃	かすみがうらほんぶ202
〃	〃	かすみがうらほんぶ203
西 署	〃	かすみがうらにしたんく101
〃	〃	かすみがうらにしたんく102
〃	〃	かすみがうらにしたんく103
〃	〃	かすみがうらにしぽんぷ101
〃	〃	かすみがうらにしぽんぷ102
本 部	〃	かすみがうらほんぶしき101
西 署	〃	かすみがうらにしきゅうじょ101
〃	〃	かすみがうらにしきゅうじょ102
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう101
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう102
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう103
東 署	〃	かすみがうらひがしたんく101
〃	〃	かすみがうらひがしたんく102
〃	〃	かすみがうらひがしぽんぷ101
〃	〃	かすみがうらひがしぽんぷ102
〃	〃	かすみがうらひがし201
〃	〃	かすみがうらひがしきゅうきゅう101

気 象 状 況

気温 (°C)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	14.8	18.8	22.9	24.2	33.5	29.9	35.6	37.4	34.6	29.8	22.8	18.6
最 低	-7.3	-4.7	-3.0	-2.5	3.8	13.6	17.1	20.5	14.6	10.9	-2.3	-4.0
平 均	3.3	5.4	8.8	12.0	18.5	20.7	23.4	27.5	23.7	18.4	11.3	7.0

湿度 (%)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	98.8	99.1	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	98.6	98.8	99.1	99.1	99.1
最 低	26.6	26.6	16.1	15.2	21.1	40.5	59.4	46.3	49.9	36.9	36.9	34.7
平 均	65.9	74.3	74.6	75.1	77.1	87.7	92.8	88.8	88.9	89.8	85.7	83.9

風速 (m/s)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
瞬 間 最 大	22.2	18.8	18.4	16.2	17.0	15.8	15.9	25.0	29.6	31.3	20.3	15.4
平 均	1.5	1.1	1.5	1.5	1.5	1.4	1.2	1.3	1.0	1.3	1.0	1.0

降水量 (mm)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
月間合計	13.0	42.5	77.0	62.0	81.5	125.5	136.0	66.5	191.5	359.5	98.0	48.0	1,301.0

消 防 団

- 1 分団別人員配置状況
- 2 階級別年齢状況
- 3 担当地区及び詰所・車庫
- 4 配置車両

分団別人員配置状況

令和2年4月1日現在

階 級 分 団	階 級							合 計
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
団 本 部	1	4	10	10				25
本部付女性消防団員					1	1	18	20
第 1 分 団					2	4	38	44
第 2 分 団					2	4	57	63
第 3 分 団					2	4	51	57
第 4 分 団					3	6	65	74
第 5 分 団					2	4	38	44
第 6 分 団					2	4	40	46
第 7 分 団					2	4	32	38
第 8 分 団					2	4	31	37
第 9 分 団					2	4	47	53
第 10 分 団					2	4	37	43
合 計	1	4	10	10	22	43	454	544

階級別年齢状況

令和2年4月1日現在

階 級 年 齢	階 級							合 計
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
18 ～ 20 歳							1	1
21 ～ 25 歳							14	14
26 ～ 30 歳						1	31	32
31 ～ 35 歳					2	10	59	71
36 ～ 40 歳				1	11	15	102	129
41 ～ 45 歳				4	6	14	150	174
46 ～ 50 歳			2	3	1	3	79	88
51 ～ 55 歳		1	7	2	1		13	24
56 ～ 60 歳		2	1		1		5	9
61 歳 以 上	1	1						2
合 計	1	4	10	10	22	43	454	544

担当地区及び詰所・車庫

分団	部	担当地区	施設所在地	面積(m ²)	構造	建築年	敷地所有	建物所有
1	1	中佐谷・下佐谷	下佐谷663-5	66.72	鉄骨造2階建	平成11年	私有	私有
	2	山本・上佐谷・雪入	上佐谷1854-5	79.48	木造2階建	平成27年	市有	市有
2	1	大峰・横堀・五反田・上志筑・上佐谷の一部	五反田329-1	79.49	木造2階建	平成24年	私有	市有
	2	中志筑・下志筑・高倉・粟田	中志筑1322	76.40	木造2階建	平成25年	私有	市有
3	1	西野寺・西野寺中根・東野寺・市川	西野寺51-4	78.65	木造2階建	平成26年	市有	市有
	2	上土田・下土田・中郷谷・飯田・下稲吉の一部・新治の一部	上土田930	76.40	木造2階建	平成25年	私有	市有
4	1	逆西1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11・角来・稲吉東1, 2, 3, 第2千代田南団地・シティーナ神立	稲吉2-2613-446	79.50	鉄骨造2階建	平成13年	市有	私有
	2	下原・下稲吉, 2, 3, 向原, 5, 旭・大塚団地・大塚東団地グリーンランド	稲吉南3-2081-5	63.99	鉄骨造2階建	昭和60年	私共有	私有
	3	清水・上稲吉・馬立	上稲吉4-2	76.40	木造2階建	平成25年	市有	市有
5	1	西成井上宿・横町・下宿・馬場・馬場山・小原・新宿・天王町・堂山・上軽部・荻平本郷・荻平・三ツ谷風返・原巻	穴倉1658-1	57.96	木造2階建	昭和62年	市有	市有
	2	天神・飯岡・天神第1・希望ヶ丘・東宝ランド・かんだつ住宅・巾木免・鹿野山, 2・新生・金川・南野・巽台・大和・共栄・東京製綱	穴倉6114-1	74.52	木造2階建	平成5年	私有	市有
6	1	北ノ坊・平・高賀津・風返・田子内・中道・小津・宮下	安食1074-1	58.09	木造2階建	平成元年	市有	市有
	2	柏崎先浜, 上宿, 下宿, 横町・富士見台・芝久保・小常・田端・新屋敷・下高野・下軽部・出戸	柏崎936-1	57.96	木造2階建	平成4年	市有	市有
7	1	山田・石田・後路・根本前原・北前原・横須賀・沖ノ内・田伏中台・上根・霞	田伏1617-3	66.24	木造2階建	平成4年	私有	市有
	2	志戸崎西1, 2, 3, 中, 東1, 2・坂有河・坂東・上東・二ノ宮・大寿・西方・折越・大平	坂4784	57.96	木造2階建	平成2年	官有	市有
8	1	八田・兵庫峰・房中・牛渡上郷・千鳥ヶ丘・緑ヶ丘・霞台上高谷1, 2, 3	牛渡2622-1	57.96	木造2階建	平成4年	私共有	市有
	2	牛渡下郷・外葉・宮馬場・松崎・根山・浜・有河・柳梅	牛渡4507-1	60.07	木造2階建	昭和58年	私有	市有
9	1	八千代台・堤・毘沙門堂・深谷1, 2, 3・深谷団地・深谷上郷下原・幕田・深谷下郷・南根本・三ツ木・上大堤	深谷3660-7	車庫 34.78 詰所 31.82	木造平屋建 木造平屋建	昭和60年	市有	市有
	2	大和田・大成・四ヶ村・中台・男神・牧ノ内・牧ノ内第2 西原自治会	大和田187	57.96	木造2階建	昭和62年	私共有	市有
10	1	赤塚東・赤塚西・田宿・崎浜・平川・川尻・松本・御殿	加茂3331-1	41.41	木造2階建	平成7年	私有	市有
	2	戸崎・大前・戸崎原・内加茂・加茂団地	加茂5020-1	57.96	木造2階建	平成2年	私有	市有

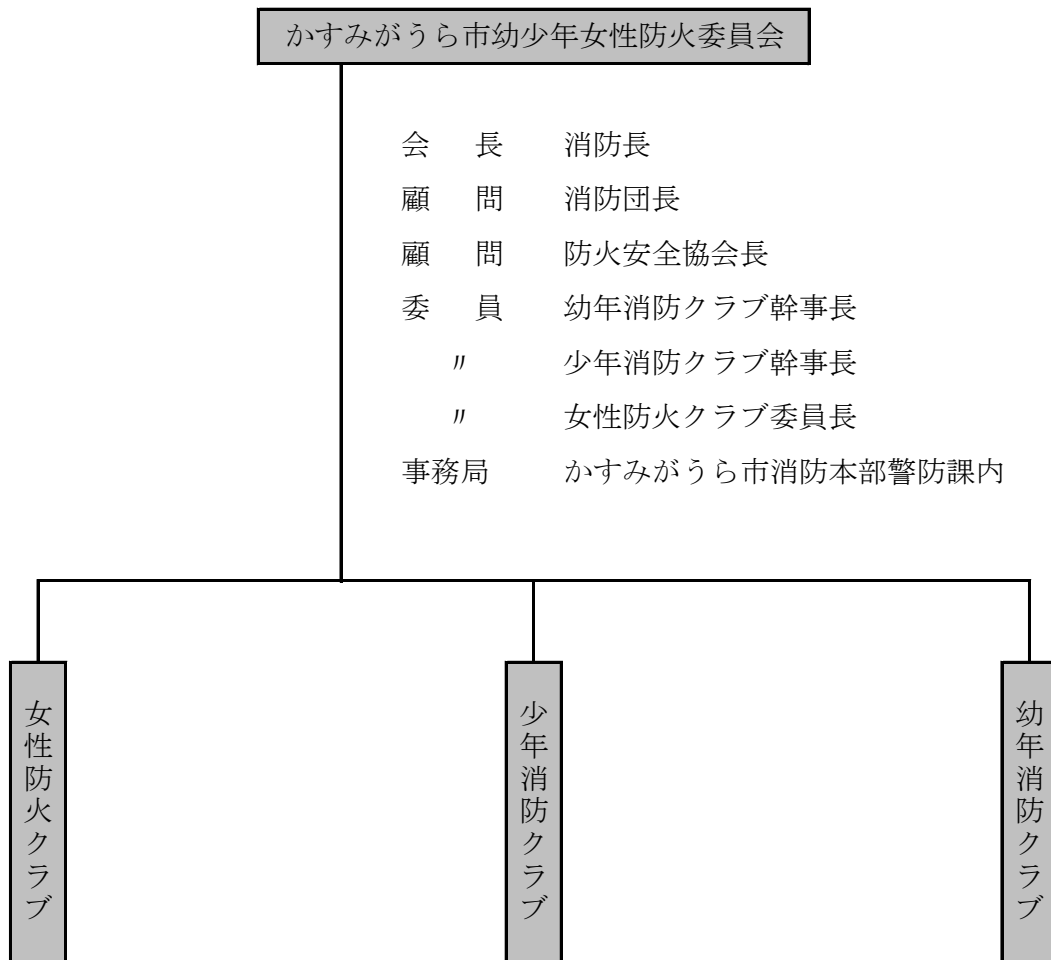
配置車両

分団	部	車名	種別	ポンプ製造所	型式	性能	規格 (cm)			総重量 (kg)	総排気量 (ℓ)	燃料	登録年月日
							長さ	幅	高さ				
本部		日産 キャラバン	団指揮車	—	—	—	523	188	244	2,670	2.48	ガソリン	平成30年12月21日
1	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	546	188	245	4070	4.77	軽油	平成16年12月20日
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	トーハツ	—	B-2	494	169	230	2590	1.99	ガソリン	平成21年10月21日
2	1	いすゞ エルフ	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	500	169	235	2730	3.05	軽油	平成16年2月18日
	2	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	548	188	245	4100	4.77	軽油	平成16年2月20日
3	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	548	188	240	4080	4.77	軽油	平成15年2月4日
	2	いすゞ エルフ	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	492	169	230	2670	3.05	軽油	平成17年3月2日
4	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	548	188	245	4100	4.77	軽油	平成16年2月10日
	2	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	548	188	240	4080	4.77	軽油	平成15年2月4日
	3	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	546	188	245	4070	4.77	軽油	平成16年12月20日
5	1	いすゞ エルフ	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	492	169	230	2670	3.05	軽油	平成17年3月2日
	2	トヨタ ダイナ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	567	188	250	4240	4.00	軽油	平成19年12月3日
6	1	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成19年12月3日
	2	日野 デュトロ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	567	188	247	4340	4.00	軽油	平成20年6月26日
7	1	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	500	169	225	2600	1.99	ガソリン	平成22年3月18日
	2	日野 デュトロ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	570	188	250	4250	4.00	軽油	平成21年3月9日
8	1	いすゞ エルフ	救助資機材搭載型 ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	555	188	245	4730	2.99	軽油	平成26年11月21日 無償貸付
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成20年6月26日
9	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	555	188	240	4220	4.77	軽油	平成15年3月19日
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成19年12月3日
10	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モリタ	CD-1	A-2	570	188	255	4450	4.77	軽油	平成18年3月17日
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成19年12月3日

防 火 団 体

- 1 かすみがうら市幼少年女性防火委員会の組織
- 2 クラブ設置状況
- 3 かすみがうら市防火安全協会

かすみがうら市幼少年女性防火委員会の組織



委員長 1 名
副委員長 若干名
幹 事 〃
委 員 〃

幹事長 1 名
幹 事 若干名
委員長 1 名
副委員長 若干名
委 員 〃

幹事長 1 名
幹 事 1 名

クラブ設置状況

令和2年4月1日現在

ク ラ ブ 名		設 立 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	わかぐり保育所幼年消防クラブ	昭和58年4月27日	25名
計	1 ク ラ ブ		25名
少 年 消 防 ク ラ ブ	志筑小学校少年消防クラブ	昭和23年5月3日	15名
	新治小学校少年消防クラブ	昭和56年11月12日	15名
	下稲吉東小学校少年消防クラブ	昭和55年12月20日	6名
	霞ヶ浦南小学校少年消防クラブ	平成28年4月1日	65名
	霞ヶ浦北小学校少年消防クラブ	平成28年4月1日	44名
計	5 ク ラ ブ		145名
女性防火 クラブ	霞ヶ浦地区女性防火クラブ	昭和55年11月20日	31名
計	1 ク ラ ブ		31名
合計	7 ク ラ ブ		201名

かすみがうら市防火安全協会

所在地	茨城県かすみがうら市上土田501番地 かすみがうら市消防本部予防課内	
沿革	昭和53年11月16日	新治地方広域危険物安全協会設立
	平成18年2月20日	市町村合併により，かすみがうら市危険物安全協会と名称変更
	平成25年4月26日	かすみがうら市危険物安全協会とかすみがうら市防火管理協会が統合し，かすみがうら市防火安全協会と名称変更
目的	事業所における危険物施設の安全管理及び危険物に起因する事故防止並びに，防火管理及び危険物に起因する事故防止並びに，防火管理の徹底と防火意識の高揚を図り火災等による災害の防止に努め，かすみがうら市内における会員相互の親睦・融和を図るとともに，事業の健全なる振興発展と社会公共の福祉の増進に寄与すること。	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の貯蔵取扱に関する研究改善及び防火管理の普及啓発事業 ・各種講習会，防火・防災教育，消防訓練及び視察研修事業 ・関係法令の研究及び周知徹底 ・関係図書の購入，頒布及び斡旋 ・その他、本会の目的を達成するために必要な事業 	
会員総数	111事業所	令和2年4月1日現在